

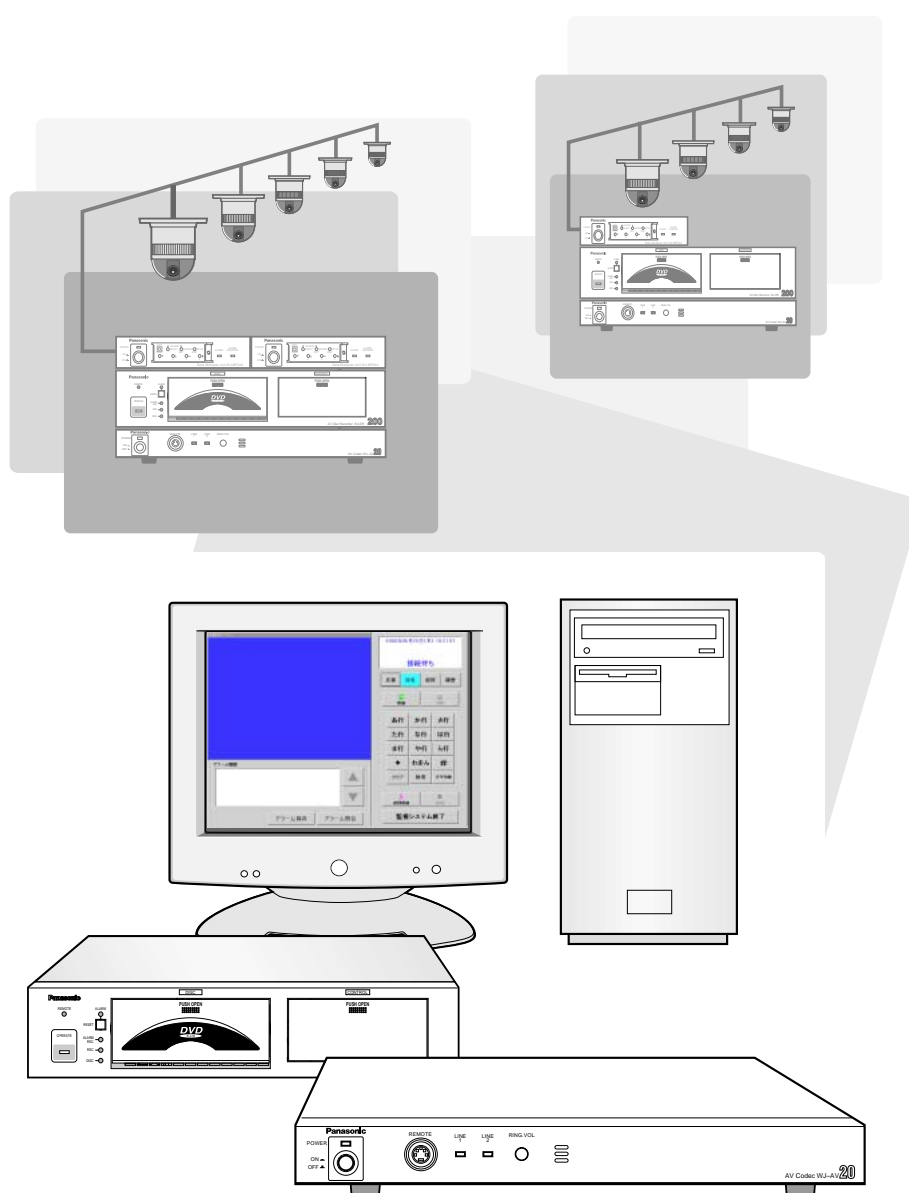
Panasonic

遠隔監視システム コントロールソフト

取扱説明書

品番 WV-AS300

このたびは、コントロールソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

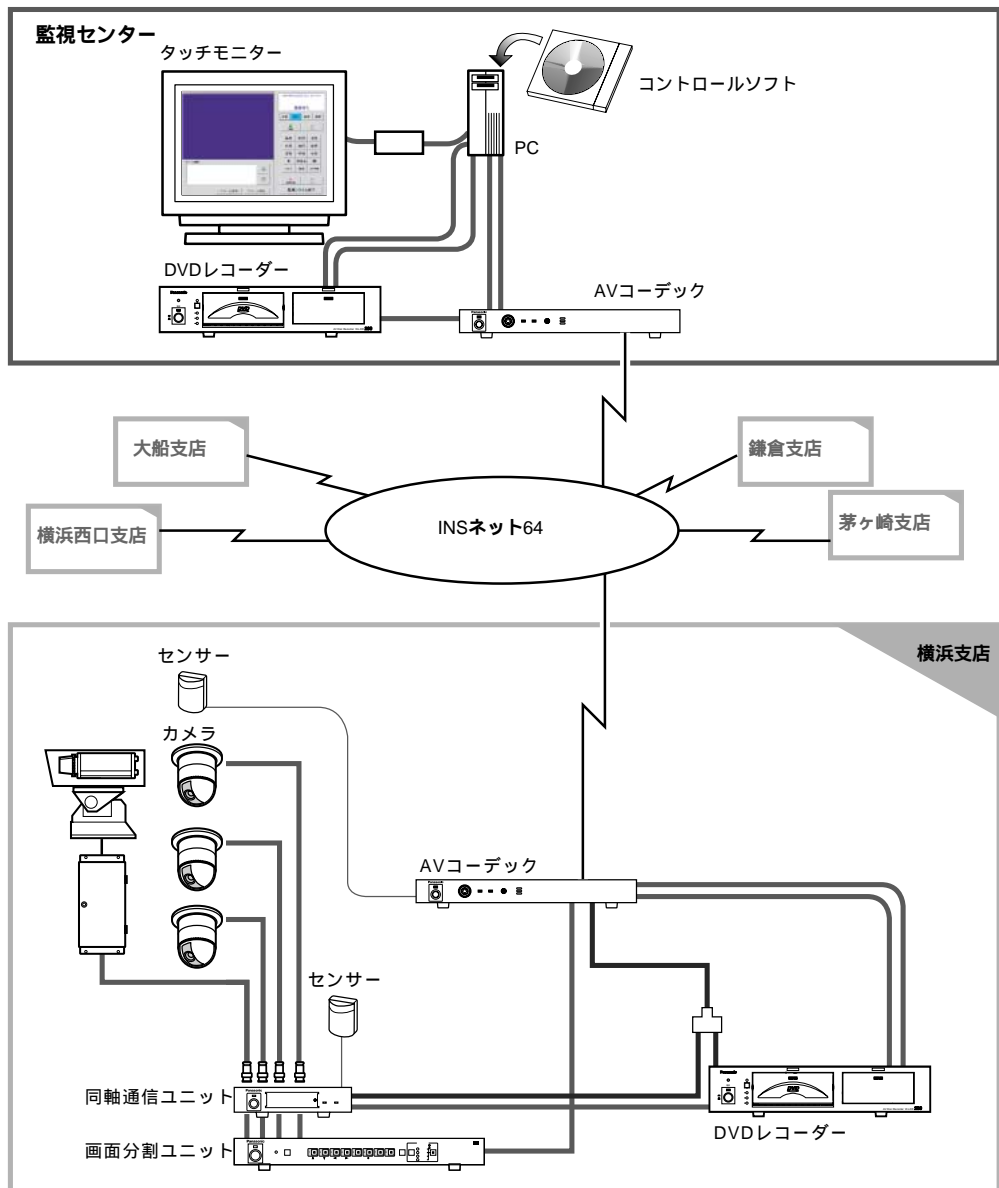


概要

本ソフトウェアは、当社AVコーデックを用いて構築された遠隔監視システムをコントロールするためのソフトウェアです。

本ソフトウェアを導入することによって、つぎの利点があります。

- INS64回線を経由して、遠隔地¹にあるカメラ及びDVDレコーダーを操作することができます。
- GUI (Graphic User Interface) によって、画面に表示されるボタンで直感的に操作することができます。


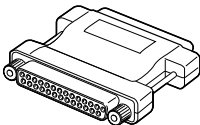



1 最大128地点までコントロールできます (支店ごとにAVコーデックを1台設置している場合)

商品概要

- 最大128個所の支店を任意に呼び出して監視できます。
- タッチパネル(オプション)を使用すれば、画面を触れるだけで操作できます。マウス及びキーボードを使用することなく操作できます²。
- 各支店に設置されているカメラの映像は、監視センターにあるPC用のモニターで確認できます。
- 画面分割ユニット(オプション)を使用すれば、PCのモニターに表示されている映像を4又は9分割できます。分割した画面に、複数のカメラの映像を同時に表示することができます。
- 支店で異常が発生した場合、監視センターに、自動的に接続して映像を送ります。監視センターが他の支店と接続中に異常が発生した場合、PCのモニターにメッセージを表示してお知らせします。メッセージ確認後、監視センターから異常が発生した支店に、自動的に接続し、状況を確認することができます。また、監視センターから送られてきた映像は、センター側にあるDVDレコーダーに自動的に記録することができます。
- AVコーデックの画像蓄積機能と連動して、異常が発生する直前の映像を監視センターにある、画像記録装置に記録することができます。

付属品をお確かめください

CD-ROM	ハードウェアキー (HASP)	取扱説明書 (本書)
		
1枚	1個	1冊

² ただし、Windows NTのログイン機能を利用している場合、キーボードが必要となります。

もくじ

はじめにお読みください

概 要.....	2
商品概要	3
付属品をお確かめください.....	3
もくじ.....	4

本書について.....	8
用語について	8
本書の構成	8
コントロールソフトの画面について	9
著作権について	9

使用上のお願い	10
---------------	----

重要：使用開始前にお読みください.....	11
ソフトウェア使用許諾契約書	11
第1条 ソフトウェアの使用	11
第2条 複製	11
第3条 改良、変更	11
第4条 譲渡、使用許諾	11
第5条 保証の範囲	12
第6条 著作権	12
第7条 有効期間	12
第8条 その他	12

もくじ

システムの概要	14
標準システム構成	14
システムの概要	15
動作条件	15

システムの起動と終了	16
起動のしかた	16
表示画面	17
終了のしかた	21

コントロールソフトの操作のしかた	22
接続 / 切断のしかた	22
接続のしかた	22
切断のしかた	23

支店に接続する	24
支店番号で検索して呼び出す	25
支店名で検索して呼び出す	26
電話番号を入力して接続する	27
履歴から検索して呼び出す	27
巡回接続をする	28

接続中の操作	31
周辺機器を操作する	32
カメラを操作する	33
カメラコントロールパネルの使いかた	35
DVDレコーダーを操作する	36

アラーム発生時の操作	38
アラームについて	38
アラーム履歴を確認する	39
アラーム履歴の照会・再生のしかた	40
アラーム履歴の保存・アラーム履歴ファイルの	43

故障と思われましたら	45
-------------------------	----

動作環境	50
ハードウェア構成	50
ソフトウェア構成	51
動作条件	52
<hr/>	
PCのセットアップ	53
セットアップ概要	53
<hr/>	
Windows NTのアップデート	54
<hr/>	
画面の領域、表示色数、タスクバーの表示方法の設定	54
画面の領域、色の設定	54
タスクバーの表示方法の設定	55
日本語入力ツールバーの表示について	55
<hr/>	
タッチモニターのセットアップ	56
タッチモニターの接続	56
タッチモニター用ソフトウェアのインストール	56
キャリブレーションの調節	57
<hr/>	
通信ボードのセットアップ	58
PCの設定の確認	58
スイッチの設定	58
通信ボードの取り付けかた	58
通信ボード用のドライバーのインストール	59
<hr/>	
キャプチャーボードのセットアップ	62
キャプチャーボードの取り付けかた	62
キャプチャーボード用のドライバーのインストール	62
オーディオ再生デバイスの設定	63
スピーカーを接続する	63
<hr/>	
コントロールソフトのセットアップ	64
<hr/>	
設定ユーティリティ (RmtEdit) の使いかた	67
設定ユーティリティの起動 / 終了	68
カメラ機能設定ファイルの作成	70
エイリアス設定ファイルの作成	72
地点情報ファイルの作成	74
巡回設定ファイルの作成	76
初期設定ファイル (INIファイル) の作成	78

機器の接続	80
監視センターの接続例	80

支店の接続例	82
--------------	----

ケーブルの仕様	84
PC WJ-DR200 (シリアルクロスケーブル：市販品)	84
WJ-AV20 PC (現地作製)	84
WJ-MP204 分配器 (現地製作)	85
WJ-AV20 分配器 (現地製作)	85
WJ-DR200 分配器 (現地製作)	85
セットアップメニューの	86

機器の設定	86
AVコーデックを設定する	86
DVDレコーダーを設定する	88
同軸通信ユニットを設定する	89

索引	90
-----------------	----

本書について

本書の構成

本取扱説明書の構成をつぎに示します。

取扱説明編

コントロールソフトの操作方法が記載されています。本ソフトウェアを使用し、監視操作を行うかたは必ずお読みください。

セットアップ編

つぎの内容について記載されています。本ソフトウェアを使用した遠隔監視システムを設定するかた又は設置工事を行うかたは必ずお読みください。

- PCのセットアップのしかた
- 本ソフトウェアのインストール方法とセットアップ方法
- システムの接続・設定のしかた

用語について

本取扱説明書では、つぎの用語を用いて説明しています。

- 支店
遠隔地にある監視地点を支店と呼びます。
- 監視センター
支店からの映像を受信し、異常がないか監視する地点を指します。
本ソフトウェアをインストールしたパソコンが設置されている必要があります。
- シナリオ
巡回接続時に使用する、巡回順序、巡回先での動作内容をなどを記述したファイルです。シナリオの内容は、システムごとに異なります。シナリオの作成又は変更が必要な場合は、当社サービスマンにご相談ください。
- AVコーデック
当社AVコーデック (WJ - AV20) をAVコーデックと呼びます。監視映像及び音声を送受信するための装置です。
- DVDレコーダー
当社画像記録装置 (WJ - DR200) をDVDレコーダーと呼びます。監視映像をDVD - RAM³に記録するための装置です。
- PC (Personal Computer)
本ソフトウェアがインストールされているパーソナルコンピュータをPCと呼びます。OSとしてMicrosoft[®] Windows NT[®]がインストールされている必要があります。
- Windows NT
Microsoft[®] Windows NT[®] Workstation 4.0 Service Pack 6aを単にWindows NTと呼びます。PC用のOS (Operating System) の一つです。

3 データの読み書きができる大容量の光ディスク。1枚で片面2.6GB (1GBは1024KB) のデータを記録できます。

コントロールソフトの画面について

本ソフトウェアが表示する画面（ボタン）は、お客様が使用するシステムによって異なります（設置時、お客様が使用するシステムに、適した表示になるようカスタマイズされています）。このため、お客様のシステム構成によっては、本書で表示されているボタンが表示されなかったり、使用できない機能があります。本書をお読みになる前に、お客様のシステム構成をご確認願います。

著作権について

- INSネット64、デジタルアクセス64・128、デジタル専用線サービス（HSD）64K・128Kbpsは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft及びWindows NTは、米国Microsoft Corporationの、米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- MonitorMouseは米国Elo Touch Systems社の登録商標です。
- Pentiumは米国Intel社の商標です。
- その他、会社名及び製品名はそれぞれの各社の登録商標又は商標です。

使用上のお願い

- 本製品はあらかじめセットアップされた状態でお客様にお渡しされます。システムの構成を変更する必要がある場合は、当社サービスマン又は販売店にご相談ください。
- 本ソフトウェアはWindows NT上で動作します。操作を開始する前に、Windows NTのマニュアル書をお読みになり、Windows NTの基本操作を理解してください。
- Windows NTの設定を変更すると本ソフトウェアが動作しなくなる恐れがあります。このため、Windows NTの設定は変更しないでください。
- 本ソフトウェアが使用する設定ファイルを変更したり、削除したりしないでください。設定ファイルを変更したり、削除したりすると一部機能又はシステムそのものが使用できなくなる場合があります。本ソフトウェアが不要となった場合は、「アンインストールの手順」をお読みになり、削除してください。
- PCのプリンターポートに取り付けられているハードウェアキー（HASP）は、外さないでください。ハードウェアキーがPCに取り付けられていない場合、本ソフトウェアを起動することはできません。
- 本ソフトウェア用に、専用のPCをご用意ください。本ソフトウェアがインストールされているPCに他のソフトウェアをインストールした場合、動作保証外となります。
- 毎日、再起動してください。再起動しないで使用を続けると、システムが誤動作する場合があります。システムを設定するときに、自動的に終了するように設定しておくことができます。
- 本ソフトウェアをご使用になる前に、Windows NT及び周辺機器の取扱説明書（マニュアル）をお読みください。
- タッチモニターで本ソフトウェアを操作する場合は、操作を始める前に、タッチモニターに付属されているマニュアルを必ずお読みください。

重要：使用開始前にお読みください

遠隔監視システム用コントロールソフトの使用を開始する前に必ずお読みください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本ソフトウェアのCD-ROMパッケージを開封される前に下記のソフトウェア契約書を必ずお読みいただき、ご了解いただきますようお願いいたします。開封後は、お客様は本契約に同意していただいたと判断され、本ソフトウェアの返品はできませんのでご注意ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、本ソフトウェアを購入されたお客様（個人又は法人）（以下お客様と称します）と、松下通信工業株式会社（以下弊社と称します）との契約です。CD-ROMパッケージを開封するとお客様は本契約に同意していただいたと判断されます。お客様が、本契約に同意できない場合は、未開封のまま、購入された販売店に返却してください。

第1条 ソフトウェアの使用

- 1) お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータでのみ使用することができるものとし、複数のコンピュータで本ソフトウェアを使用する場合は、使用するコンピュータの数と同じだけの本ソフトウェアを購入していただく必要があります。
- 2) お客様の本ソフトウェアの使用は非独占的であり、「使用」とは、ハードディスクなどの固定メモリにソフトウェアを組み込むこと及びRAMなどの一時メモリに読み出すことを意味します。

第2条 複製

本ソフトウェアのCD-ROMは、バックアップ用に保存し、使用するコンピュータ1台に限り、その記録媒体（ハードディスク）にコピーして組み込むことができます。

第3条 改良、変更

お客様による、本ソフトウェアの改良・変更は禁止します。お客様により、本ソフトウェアの改良・変更が行われた場合には、弊社は当該ソフトウェアについていかなる責任も負いません。

第4条 譲渡、使用許諾

お客様は、本契約に基づく権利義務の一部又は全部を第三者に譲渡し、貸与し、継承させ又は担保に提供することはできません。お客様が本契約書、本ソフトウェアのすべての印刷物を譲渡し、一切のコピーを保持せず、かつ譲り受けた人が本契約書の条項に同意したことを示す書面がある場合に限り、お客様は本契約書の権利を譲渡することができます。本ソフトウェアがバージョンアップされている場合に置いて譲渡する場合は、バージョンアップ版と以前のバージョン一切も併せて譲渡されなければなりません。

.....

重要：使用開始前にお読みください

第5条 保証の範囲

- 1) 本ソフトウェアに重大な欠陥が発生された場合は、本製品購入日より6ヶ月に限り、無償にて交換又は修理します。
- 2) お客様による他のソフトウェアの選択、使用、使用結果については、弊社はいかなる責任も負いません。「選択、使用、使用結果」とは、他のソフトウェアと本ソフトウェアとの使用又は使用不能から生ずるあらゆる障害を指します。たとえ弊社が、かかる障害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

第6条 著作権

本ソフトウェアの著作権、その他の無体財産権は、松下電器産業株式会社及び松下通信工業株式会社に帰属しており、お客様へは移転しません。

第7条 有効期間

- 1) 本契約の有効期間は、お客様が本ソフトウェアのディスクパッケージを開封したときからお客様が本ソフトウェアの使用を停止するまでとします。
- 2) お客様が、本契約の条項に違反する行為を行った場合、弊社は本契約を無催告で解除する場合があります。
- 3) 本契約が終了した場合、お客様は速やかにお客様のご負担で本ソフトウェアを弊社に返却あるいは破棄していただきます。

第8条 その他

- 1) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。本ソフトウェアの機密、ノウハウを第三者に開示できません。
- 2) 本契約は、日本国の法律に準拠するものとします。本契約に関し、訴訟の必要性が生じた場合は、東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社
AVシステム事業部
〒224-8539
横浜市都筑区佐江戸町 600番地

はじめにお読みください

取扱説明編

システムの概要

標準システム構成

本システムの標準構成⁴をつぎに示します。

センター側

機器の名前	品番	機器の概要
AVコーデック	WJ - AV20	支店と監視センター間で画像及び音声データを通信するための装置。
画像記録装置 (DVDレコーダー)	WJ - DR200	監視映像をDVD - RAMに記録するための装置。
コントローラー	WV - CU20	AVコーデックの設定をするための装置です。
タッチモニター ⁵	9407TD17 / N1 (付属コントローラ 5810E102) タッチパネルシステムズ株式会社製	マウス及びキーボードを使用しないで、モニターを触れるだけで、本ソフトウェアを操作するための装置。タッチモニターをPCのモニターポートに接続するための変換ボックスが付属されています。
PC	市販品	本ソフトウェアをインストールするための装置 ³ 。 OSとしてWindows NT 4.0 (SP6a) がインストールされている必要があります。詳細は、「Windows NTのアップデート」をお読みください。
通信ボード	COM - 2PD(PCI) CONTEC社製	PCからAVコーデックを操作するためのボード。PCのPCIスロットに組み込まれています。
ビデオキャプチャーボード	Videum Board Winnov社製 (トーメンサイバービジネス株式会社取り扱い)	AVコーデックからの映像及び音声をPCに取り込むためのボード。 PCのPCIスロットに組み込まれています。

4 当社が推奨するシステム構成です。お客様の利用形態によっては、システムの構成が異なることがあります。

5 市販されているPC用のモニターでも使用できます。この場合、マウスが別途必要となります。

システムの概要

支店側

機器の名前	品番	機器の概要
AVコーデック	WJ - AV20	支店と監視センター間で画像や音声データを通信するための装置。
画像記録装置 ⁶ (DVDレコーダー)	WJ - DR200	支店に設置されているカメラの映像をDVD - RAMに記録するための装置。
同軸通信ユニット ⁶	WJ - MP204	監視センターから支店のカメラを操作するための装置。
カメラ	当社コンビネーションカメラ又はシステムカメラ ⁷	監視用カメラ。
画面分割ユニット	WV - MS488又は WV - MS424	1画面を4又は9分割 ⁸ して表示するための装置。

動作条件

本ソフトウェアの動作条件を以下に示します。

条件	概要
PC	DOS / V互換機
CPU	Pentium 400MHz以上
ハードディスク	500MB ⁹ 以上の空きがあること
フロッピーディスクドライブ	アラーム履歴の保存に必要
CD - ROMドライブ	本ソフトウェアのインストールに必要
メモリー	128MB ⁹ 以上
RS - 232Cポート (SIOポート)	2ポート
プリンターポート (PIOポート)	1ポート (ハードウェアキー接続用)
OS	Windows NT Workstation 4.0 (Service Pack 6a)
対応解像度	1024 x 768ドット
対応色数	65536色

6. システムの構成によっては設置されていない場合があります。

7. システムカメラを当社回転台に取り付けて使用する場合、屋内用レシーバーWV - RC100が別途必要となります。

8. WJ - MS424を使用する場合、9分割表示はできません。

9. 1MB (メガバイト) は1024KB (キロバイト)、1KBは1024B (バイト)。

システムの起動と終了

起動のしかた

起動前の準備

本ソフトウェアを起動する前に周辺機器の電源スイッチをすべてONにしてください。周辺機器には、つぎのようなものがあります。

- AVコーデック
- DVDレコーダー
- タッチモニター

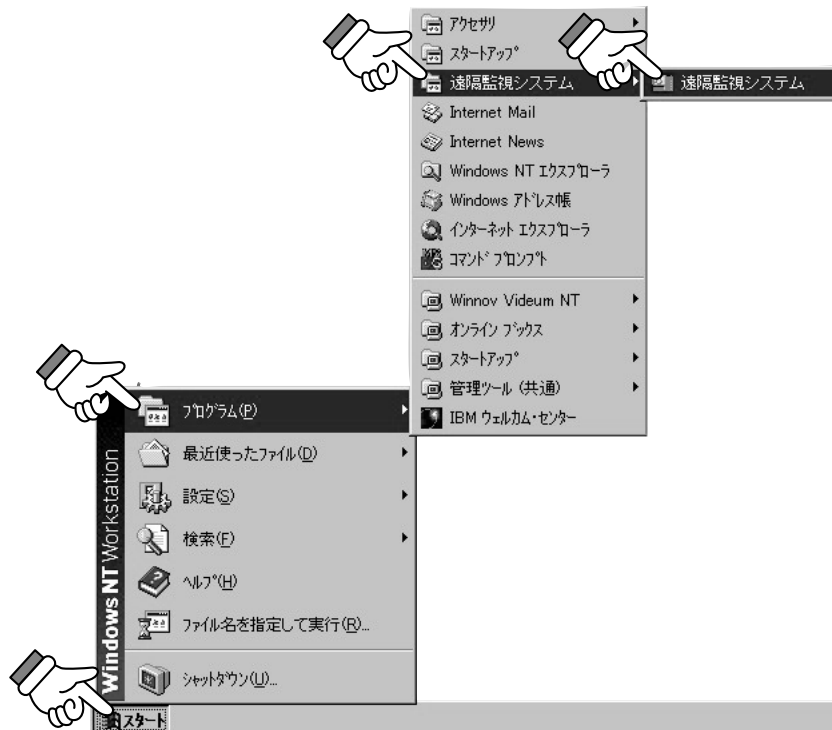
周辺機器の電源スイッチをONにした後、PCの電源スイッチをONにし、Windows NTを起動してください。Windows NTを起動すると、ログイン画面が表示されます。ログインのしかたは、Windows NTの取扱説明書をお読みください。

コントロールソフトの起動

ここでは、手動で本ソフトウェアを起動する方法について説明します。

本ソフトウェアは、プログラムフォルダーの遠隔監視システムフォルダーに、「遠隔監視システム」として登録されています。

本ソフトウェアを起動する場合、[スタート] - [プログラム] - [遠隔監視システム] - [遠隔監視システム]の順に押していきます（下図参照）。



- スタートアップに登録されている場合
本ソフトウェアは、Windows NTを起動すると自動的に起動されます。

システムの起動と終了

表示画面

本ソフトウェアが起動すると、つぎの画面¹⁰が表示されます。

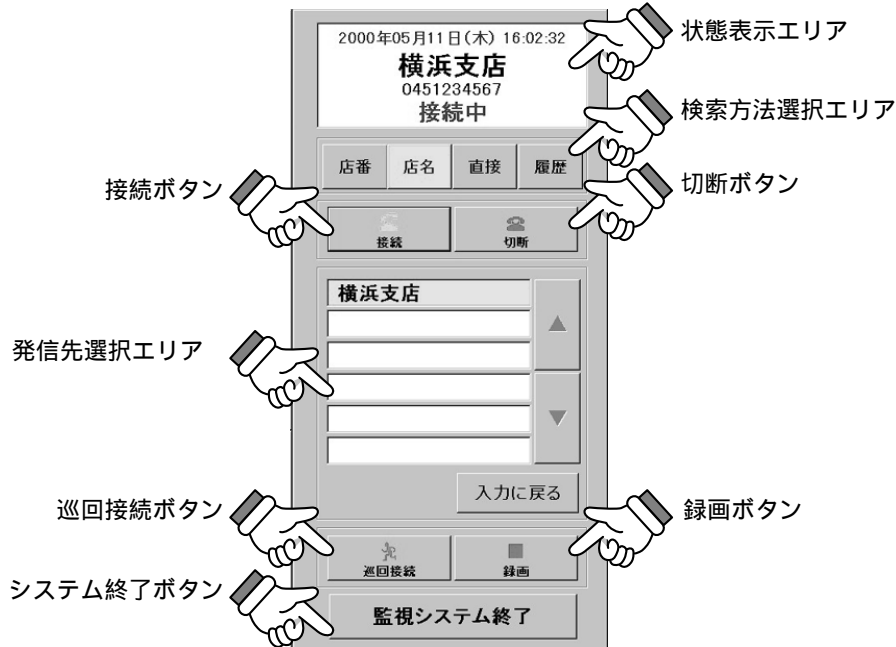


システムの起動と終了

10 画面に表示されるボタンの名称は、システムによって異なることがあります。

システムの起動と終了

メインウィンドウ



このウィンドウ¹¹で、支店との接続及びセンター側に設置されているDVDレコーダーを操作することができます。

主に、つぎの操作を行うことができます。

- 発信先の検索と接続
発信先は、支店番号（店番）、支店名（店名）、発信履歴（履歴）で検索して、接続することができます（「接続／切断のしかた」、「支店に接続する」をお読みください）。
- 電話番号の直接入力
電話番号を入力して直接支店に接続することができます（「巡回接続で巡回する」をお読みください）。
- 切断
通信を終了し、電話を切ります（「接続／切断のしかた」をお読みください）。
- 巡回監視の実行
登録されている情報を基に、各支店に自動接続を行って監視することができます（「巡回接続で巡回する」をお読みください）。
- 録画
監視センターに設置されているDVDレコーダーに、支店から送られてきた映像を手動で録画することができます（「DVDレコーダーを操作する」をお読みください）。
- 監視システム終了
本ソフトウェアを終了します（「終了のしかた」をお読みください）。

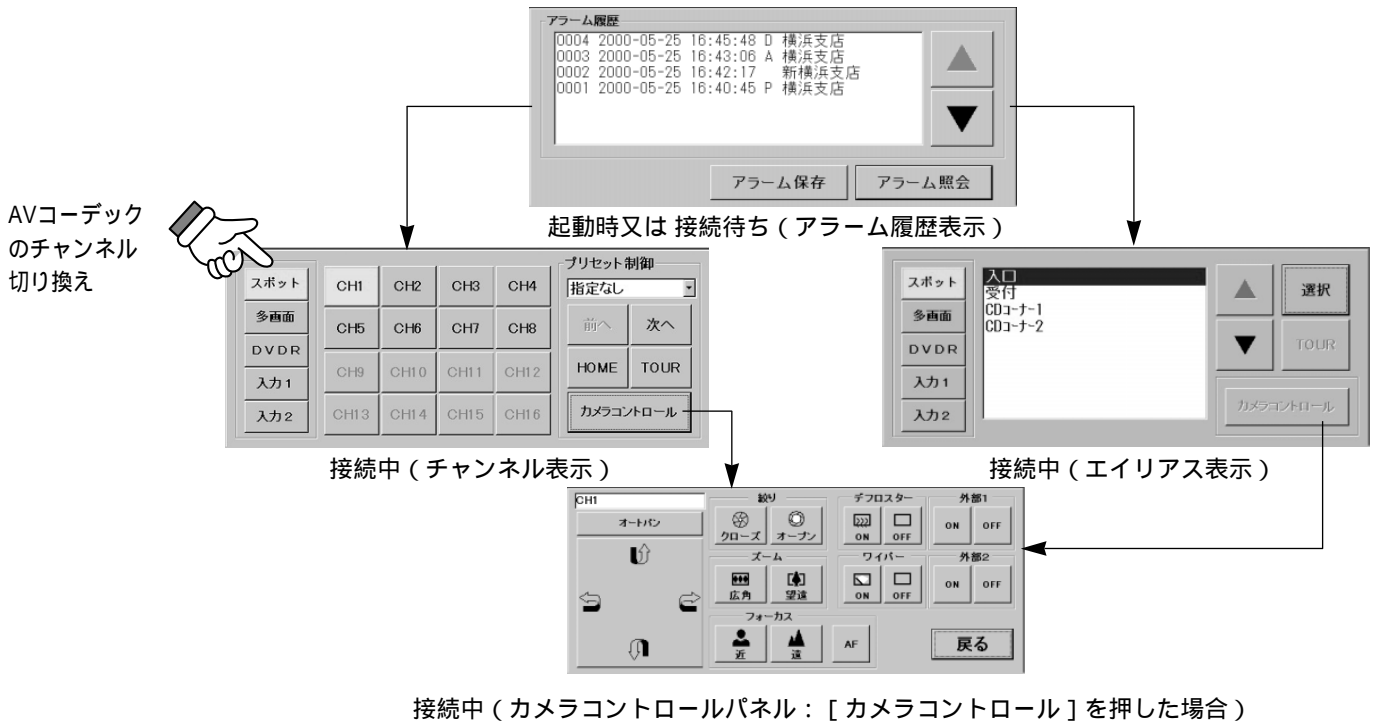
11 画面に表示されるボタンは、システムの状態によって異なります。

システムの起動と終了

サブウィンドウ

サブウィンドウで、「アラームの発生履歴の確認」、「支店に接続されている機器の操作」、「監視センターに接続されているDVDレコーダーの操作」を行うことができます。

画面の構成は支店に設置されている監視機器の構成に合わせて設定されています。また、操作内容にしたがって、画面の表示が自動的に切り換わります（以下はサブウィンドウの遷移例です）。



接続待ち

システム起動時又は接続待ちのとき、アラーム履歴がサブウィンドウに表示されます。この画面で、アラームの発生日時を確認することができます。

接続中

接続中は、チャンネル表示又はエイリアス表示になります。どちらの表示にするかは、システム設定時に決定されています。

カメラコントロール を押すと、カメラコントロールパネルに切り換わります。

また、接続中は、AVコーデックに接続されている周辺機器を操作できます。操作できる内容は支店に接続されている機器及びシステムの設定内容によって異なります。

- 画面分割ユニットが接続されている場合：カメラチャンネル切換、エイリアス切換を行うことができます。
- DVDレコーダーが接続されている場合：DVD - RAMに記録されている画像を再生して、映像表示ウィンドウに表示することができます（「DVDレコーダーを操作する」をお読みください）。

システムの起動と終了

• チャンネル表示の場合

チャンネル表示の場合、つぎのような操作を行うことができます。

- カメラ（チャンネル）の切り換え
- プリセット番号による撮影位置の切り換え
- ツアーによるカメラ（又はプリセット¹²）の自動切り換え

なお、操作できる内容は、支店に接続されているカメラの種類又は回転台の有無によって異なります。詳しくは「カメラを操作する」をお読みください。

• エイリアス表示の場合

チャンネル表示の場合、つぎのような操作を行うことができます。

- 撮影場所の切り換え
- ツアーによるカメラ（又はプリセット¹²）の自動切り換え

なお、操作できる内容は、支店に接続されているカメラの種類又は回転台の有無によって異なります。詳しくは「カメラを操作する」をお読みください。

映像表示ウィンドウ



接続中の支店から送られてくる映像が表示されます。画面の上又は下につぎの情報が表示されます¹³。

- 日付と時刻
- DVD - RAMの残容量（％）

また、アラームの履歴を確認している場合は、履歴がリスト形式で表示されます（「アラーム発生時の操作」をお読みください）。

12 コンビネーションカメラが支店に接続されている場合に使用できる機能です。コンビネーションカメラには、よく撮影する位置の情報に番号を付けて登録することができます。登録された情報をプリセット情報と呼び、各情報に付けられた番号をプリセット番号と呼びます。

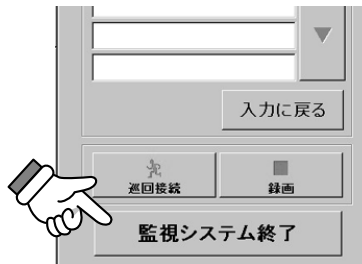
13：映像表示ウィンドウに表示される情報は、監視センターに設置されているDVDレコーダーから出力されます。

システムの起動と終了

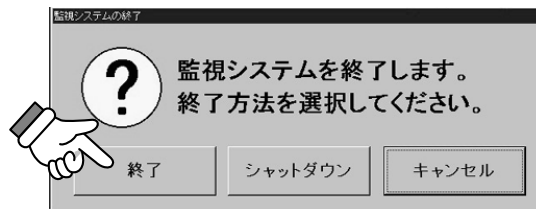
終了のしかた

終了のしかたには、自動終了¹⁴と **監視システム終了** による終了のしかたがあります。
ここでは、 **監視システム終了** による終了のしかたについて説明します。

①メイン操作ウインドウの **監視システム終了** を押します。



つぎのメッセージが表示されます。



②終了方法を選択します。

終了方法にはつぎの2つの方法があります。

終了 : 本ソフトウェアを終了し、Windows NTのデスクトップを表示します。

キャンセル : 本ソフトウェア及びWindows NTを終了します

「電源を切断しても安全です。」メッセージ¹⁵が表示されたら、PCの電源スイッチを切ってください。



- 誤って、 **監視システム終了** を押したときは？
キャンセル を押してください。 **キャンセル** を押すと、本ソフトウェアの操作画面に戻り、操作を続けることができます。
- 自動終了が設定されているときは？
設定されている時刻になるとメッセージが表示され、[はい]を押すと、Windows NTが終了します。
[いいえ]を押した場合、システムを終了するときは **監視システム終了** を押してください([いいえ]を押すと、以降自動終了しないため、手動で終了する必要があります)。
「電源を切っても安全です。」メッセージ¹⁵が表示されたら、PCの電源を切ってください。ただし、自動終了する時刻に監視操作を行っている場合、回線切断後に自動終了動作を行います。


14 : お客様のシステムによっては、自動終了時刻が設定されていないことがあります。自動システム終了を行いたい場合は、当社サービスマンにご相談ください。

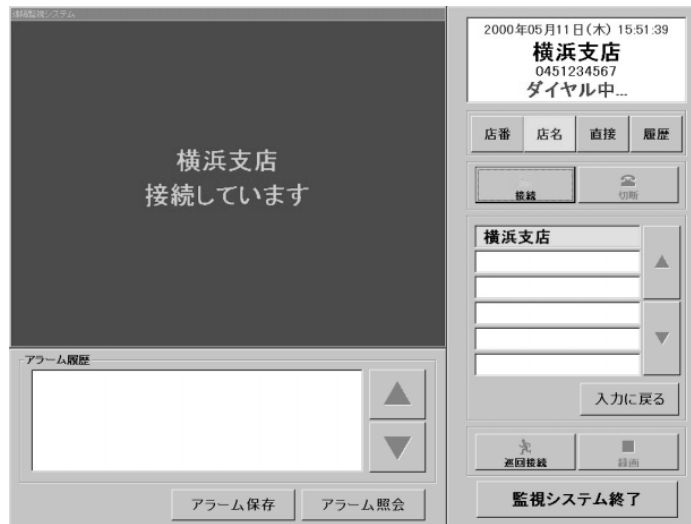
15 : PCによっては、メッセージが表示されずに、自動的に電源が切れる機種があります。

コントロールソフトの操作のしかた

接続 / 切断のしかた

接続のしかた

発信先を選択する又は電話番号を入力したあと、 を押します。
選択した支店に接続します。接続中、つぎのような画面が表示されます。



接続中画面

支店の選択のしかたには、つぎの4つの方法があります。

- 支店の番号（店番）で検索する。
- 支店名（店名）で検索する。
- 履歴から検索する。

上記の他に、支店の電話番号を直接入力して接続することもできます。

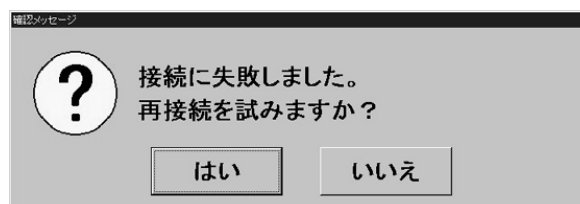
接続が完了すると、映像表示ウィンドウに支店から送られてきた映像が表示されます。

サブウィンドウには、直前の操作ウィンドウが表示されます。




接続に失敗した場合は？

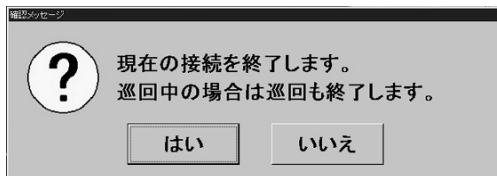
接続に失敗すると、つぎのようなメッセージが画面に表示されます。メッセージの内容にしたがって操作してください。



コントロールソフトの操作のしかた

切断のしかた

切断するときは  を押します。画面に、つぎのメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって操作してください。



接続待ち画面¹⁶



誤って、 を押したときは？

[いいえ] を押してください。[いいえ] を押すと、本ソフトウェアの操作画面に戻り、操作を続けることができます。

自動切断機能について

本ソフトウェアは、不要な課金を防止するために、自動的に回線を切断するように設定されています。¹⁷ 自動切断を行うまでの時間を変更する必要がある場合は、当社サービスマンにご相談ください。

16 起動時及び接続待ちのとき、この画面が表示されます。



17 自動的に切断されるまでの時間は、システムによって異なります。

コントロールソフトの操作のしかた

支店に接続する

支店に接続する方法をつぎに示します。

- 支店番号又は支店名で、検索して接続する。
- 電話と同様に、電話番号を入力して接続する。

発信先を選択（又は電話番号入力）後、を押すと、接続を開始します。切断するときは、を押してください。



こんなこともできます！

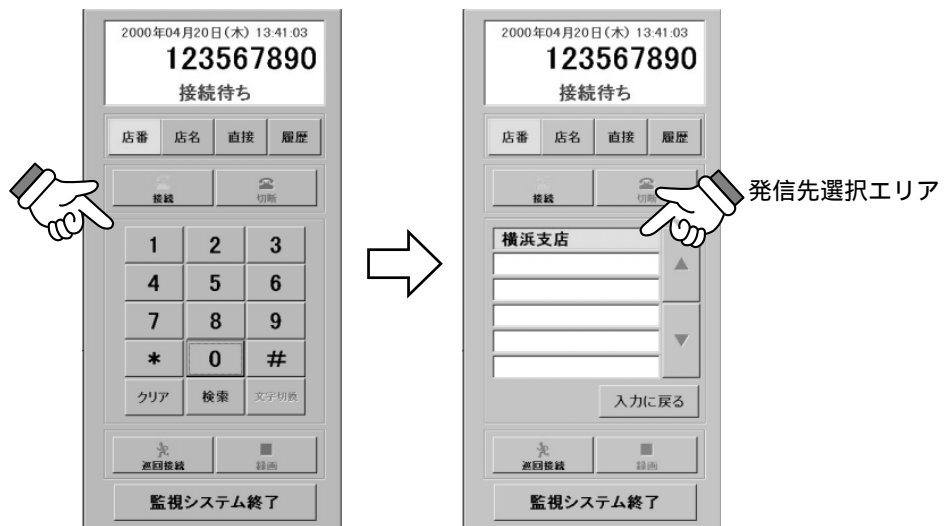
巡回接続ボタンを押すと、設定されている内容にしたがって、次々と各支店に自動接続・切断を行うことができます¹⁸（「巡回接続をする」をお読みください）。

18 巡回接続を行うためには、本ソフトウェアの使用を始める前に、発信先、接続時間、操作内容などを設定しておく必要があります。設定が必要な場合又は設定内容を変更する必要がある場合は、当社サービスマンにご相談ください。

コントロールソフトの操作のしかた

支店番号で検索して呼び出す

- ①支店番号で検索するときは、検索方法選択エリアの **店番** を押します。メインウィンドウにテンキーが表示されます。

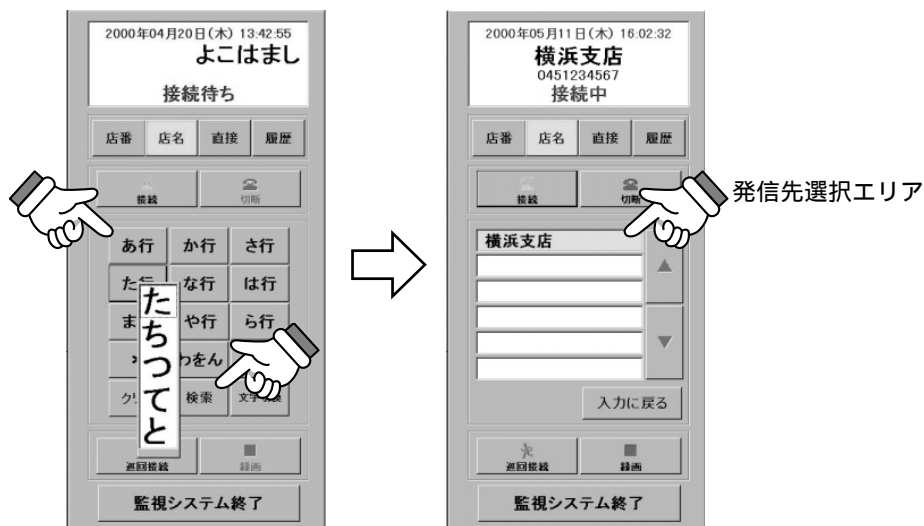


- ②テンキーを押して、支店番号を入力します。入力後、 **検索** を押します。
- 入力内容は、情報表示エリアに表示されます。
 - 支店番号は、すべて入力する必要はありません。入力した数字で始まる支店番号の支店名が、発信先選択エリアに表示されます。
- ③接続先、 **接続** の順に押します。
選択した支店に接続します（ 接続 / 切断のしかたをお読みください）。
接続先は、 **直接** または **履歴** で選択することもできます。

コントロールソフトの操作のしかた

支店名で検索して呼び出す

- ① 支店名で検索するときは、メインウィンドウの **店名** を押します。
メインウィンドウに、かな選択ボタンが表示されます。





- ② かな選択ボタンを押して、支店名（よみ）を入力します。
かな選択ボタン（例えば、[た行]）を押すと、その行の文字がプルダウン表示されます。
文字切換 を押すたびに、文字の種類を英字 数字 かなの順に切り換えることができます。

支店名は、すべて入力する必要はありません。 **検索** を押すと入力した文字で始まる支店名が
発信先選択エリアに表示されます。

- ③ 発信先、**接続** の順に押します。
選択した支店に接続します（ 接続 / 切断のしかたをお読みください）。
接続先は、 又は で選択することもできます。

コントロールソフトの操作のしかた

電話番号を入力して接続する

- ①電話番号が分かっている場合、番号を直接入力して接続するときは、を押します。
メインウィンドウに、テンキーが表示されます（テンキーは「支店番号で検索して呼び出す」と同様に操作できます）。
- ②電話番号をすべて入力したら、を押します。
市内通話の場合、市外局番は省略できます。
入力した電話番号に電話をかけ接続します（接続／切断のしかたをお読みください）。電話番号を直接入力して接続する場合、常に2B¹⁹で通信を行います。




迷惑電話にご注意ください！

- 接続する前に、電話番号に誤りがないか、よく確認してください。
- サブアドレスを入力する場合は、電話番号「*」サブアドレスの順に入力してください。

履歴から検索して呼び出す

本ソフトウェアには再ダイヤル機能があります。

を押すと、過去に発信した支店名が発信先選択エリアに表示されます。

支店名、の順にを押します。


選択した支店に接続します（「接続／切断のしかた」をお読みください）。

.....
19 INSネット64は1回線で電話2回線分の働きがあります。電話1回線分を1Bと呼び、2回線を同時に使用することを2Bと呼びます。2Bを使用することによって、映像がなめらかに動くようになります。


コントロールソフトの操作のしかた

巡回接続をする

接続のしかた

- ① 支店を巡回する場合、メインウィンドウの、 を押します。
発信先選択エリアに、巡回するためのシナリオが表示されます²⁰。



- ② 巡回したいシナリオ、 の順に押します。
シナリオに登録されている順番に支店に接続します²¹。
シナリオの内容をすべて実行すると、自動的に巡回が終了します²²。
巡回中、どの支店に接続しているかは、状態表示エリアに表示されます。
巡回中、サブウィンドウはチャンネル表示になります。

支店に接続する



20 巡回用のシナリオが1つも登録されていない場合、シナリオは表示されません。シナリオを登録又は変更する必要がある場合は、当社サービスマンにご相談ください。

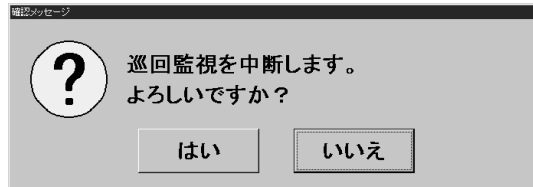
21 巡回時の動作は、シナリオ作成時の設定によって異なります。


22 シナリオの繰り返し回数は、システムによって異なります。


コントロールソフトの操作のしかた


中断のしかた

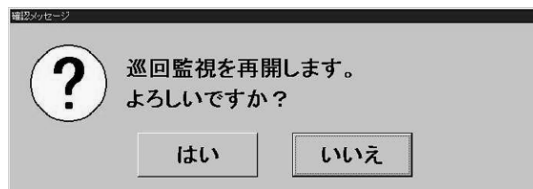
巡回中に  を押して巡回を中断し、接続中の支店を監視することができます。
 を押すとつぎのメッセージが表示されます。





 を押すと、巡回を中断します。中断中は、巡回先の支店に接続されている機器を操作することができます（「巡回先の機器を操作する」をお読みください）。

 を押すと、巡回を継続します。

巡回を再開するときは、メインウィンドウの  を押してください。
つぎのメッセージが表示されます。




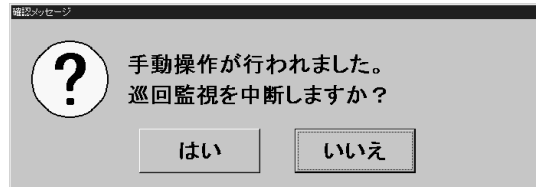
 を押すと、巡回を再開します。


 を押すと、接続中の支店の監視を継続します。


コントロールソフトの操作のしかた

巡回先の機器を操作する

巡回中又は巡回中断中サブウィンドウで、接続中の支店を操作することができます。巡回中に  を押すと、つぎのメッセージが表示されます。

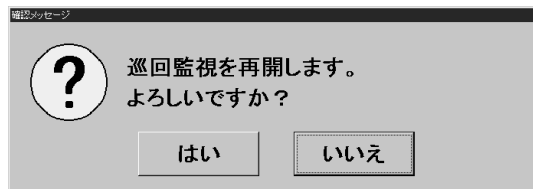


 を押すと、巡回を継続します。


 を押すと、つぎの内容を操作することができます。

- 巡回先の映像をDVDレコーダーに記録する（「DVDレコーダーを操作する」をお読みください）。
- 接続中の支店に接続されている機器を操作する（「接続中の操作」をお読みください）。
- カメラのプリセット操作、回転台を操作する（「接続中の操作」をお読みください）。



巡回を再開するときは、メインウィンドウの  を押してください。つぎのメッセージが表示されます。

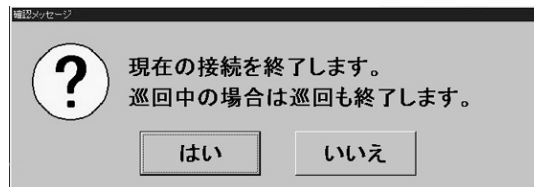



 を押すと、巡回監視に戻ります。


 を押すと、支店の操作を継続することができます。

巡回接続を終了する

シナリオの内容をすべて実行すると、自動的に巡回が終了します。²³巡回中に  を押して巡回を手動で終了することもできます。巡回中に  を押すと、つぎのメッセージが表示されます。



 を押すと、巡回を終了します。

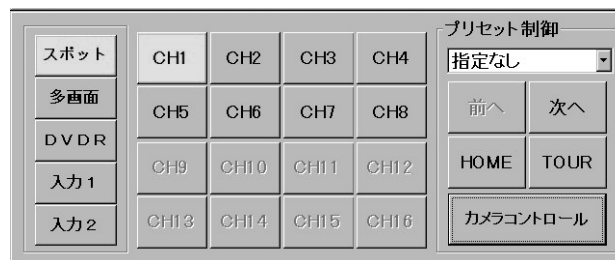
 を押すと、巡回を継続します。

23 シナリオの繰り返し回数は、システムによって異なります。

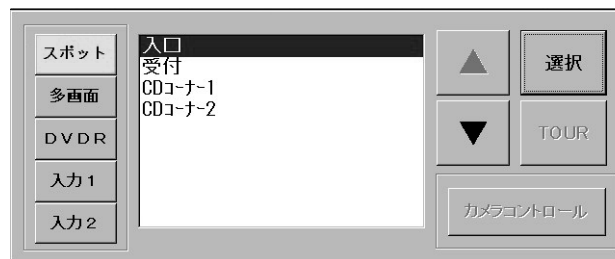
コントロールソフトの操作のしかた

接続中の操作

支店と接続中、サブウィンドウでつぎの内容を操作することができます。サブウィンドウの表示形態にはチャンネル表示 / エイリアス表示²⁴があります。どちらで表示するかは、本ソフトウェアの設定時に決まります。



チャンネル表示²⁵



エイリアス表示²⁶

サブウィンドウでつぎ内容进行操作できます。

- 周辺機器の操作（画面分割 / 記録映像の再生 / 外部機器の操作）
- カメラの操作（チャンネル（エイリアス）の切り換え / プリセット²⁷の切り換え）

24 表示方法を変更したい場合は、当社サービスマンにご相談ください。

25 表示されるチャンネルの数は、支店によって異なります。

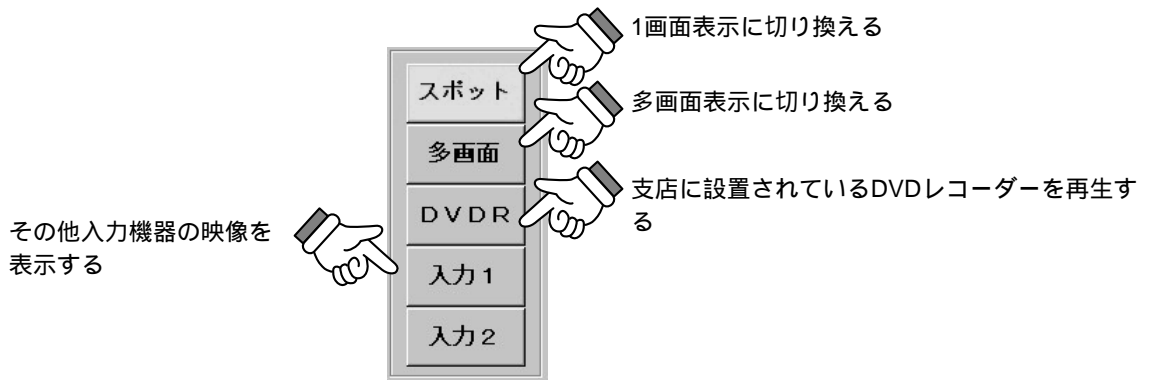
26 エイリアスとは、撮影場所ごとに付けられる名前のことです。

27 エイリアス表示の場合、プリセット操作はできません。

コントロールソフトの操作のしかた

周辺機器を操作する

サブウィンドウ左側に表示されている操作ボタンで、映像の切り換え（支店のAVコーデックのチャンネル切り換え）及び支店に接続されている機器を操作することができます。²⁸



28 操作できる項目は、システムごとに異なります。

多画面 : 支店に画面分割ユニットが接続されている必要があります。

DVDR : 支店にDVDレコーダーが接続されている必要があります。

入力1/2 : 支店に入力機器が接続されている必要があります。

コントロールソフトの操作のしかた

カメラを操作する

支店に接続されているカメラを監視センターから操作することができます。操作できる内容はサブウィンドウの表示形態によって異なります。

チャンネル表示の場合



- CH1 ~ CH16
ボタンを押すと、カメラを切り換えることができます。灰色に表示されているチャンネルに切り換えることはできません。
- プリセット制御選択²⁹
▼を押すと、プリセット番号（1～64）を選択することができます。
- 前へ / 次へ
現在表示しているプリセットの、1つ前又は次のプリセット映像を表示します。プリセット番号64の映像を表示している場合、[次へ]の操作はできません（ボタンの文字の色が灰色に変わります）。
- HOME³⁰
現在選択中のカメラをホームポジションに移動します。
- TOUR
CH1～CH16の順にシーケンスを実行します。ツアー実行中に、CH1～CH16ボタンのいずれかを押すとツアーを停止することができます。
- カメラコントロール³¹
このボタンを押すと、サブウィンドウがカメラコントロールパネルに変わり、選択しているチャンネルのカメラを手動で操作できます（「カメラコントロールパネルの使いかた」をお読みください）。

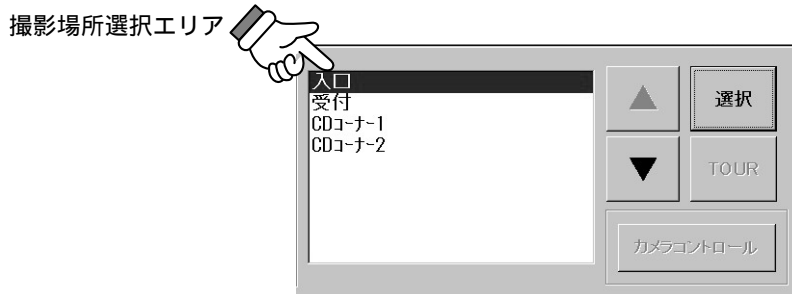
.....
29 本ソフトウェア設定時に、カメラ情報にプリセットに関する情報が設定されている必要があります。プリセットに関する情報が設定されていない場合、プリセット操作はできません（ボタンが灰色で表示されます）。設定内容を追加又は変更する必要がある場合は、当社サービスマンにご相談ください。TOUR（シーケンス）実行中は、操作できません。

30 ホームポジションはプリセット番号に割り当てられています。このため、ホームポジションに移動すると、表示していたプリセットが自動的にホームポジションのプリセット番号に変わります。

31 TOUR（シーケンス）実行中は操作できません。

コントロールソフトの操作のしかた

エイリアス表示の場合



- 撮影場所選択エリア
表示されている名前（エイリアス）を押したあと を押すと、撮影場所を変更できます。
名前は、 または で移動できます
- TOUR
撮影場所選択エリアに表示されている名前の順にシーケンスを実行します。実行中に を押すと、ツアーを停止することができます。
- カメラコントロール³²
このボタンを押すと、サブウィンドウがカメラコントロールに変わり、支店のカメラを手動で操作できます（「カメラコントロールパネルの使いかた」をお読みください）。

.....
³² TOUR（シーケンス）実行中は操作できません。

コントロールソフトの操作のしかた

カメラコントロールパネルの使いかた

通信中に **カメラコントロール** を押すと、サブウィンドウがカメラコントロールパネルに換わります。

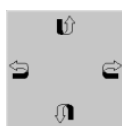


操作できる機能は、設定内容によって異なります³³（操作できない項目は灰色で表示されます）。

オートパン

オートパン

カメラに設定されているオートパンの動作を開始又は停止します。



回転台操作部³⁴

コンビネーションカメラ又は回転台を旋回します。中心から離れるほど高速に旋回することができます。



絞リ

カメラに取り付けられているレンズの絞りを調節します。



ズーム

カメラに取り付けられているズームレンズを操作して、映像を拡大（望遠）/ 縮小（広角）します。



フォーカス

ピントを調節します。オートフォーカス機能のあるカメラの場合、[AF] を押すと自動でピントを調節できます。



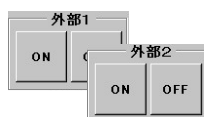
デフロスター

カメラハウジングのヒーターをONにし、曇りを取り除きます。



ワイパー

ワイパーを動作させて、カメラハウジングに付着した雨滴を取り除きます。



外部1、外部2

支店に接続されている外部機器（照明など）のON / OFFするときに使います。

戻る

戻る

チャンネル表示（又はエイリアス表示）に戻ります。

³³ 本ソフトウェア設定時にお客様のシステム構成にあった内容に設定されています。支店に接続されているカメラの構成を変更した場合など、設定を変更する必要があるときは当社サービスマンにご相談ください。

³⁴ 旋回速度はカメラによって異なります。また、カメラによっては高速旋回ができない場合があります。

コントロールソフトの操作のしかた


DVDレコーダーを操作する

本ソフトウェアは、監視センター及び支店に設置されているDVDレコーダー³⁵を操作することができます。操作できる内容はつぎのとおりです。

- 受信中の映像を監視センターのDVDレコーダーに記録する。
- 接続中の支店に設置されているDVDレコーダーを再生する³⁵。

受信中の映像を監視センターのDVDレコーダーに記録する

支店から送られてくる映像を手動で記録できます。

録画するときは、を押します。記録した映像は、アラーム映像としてアラーム履歴に記録されます。

停止するときは、を押します。記録を終了できます。



- アラーム履歴からDVDレコーダーに記録した映像を検索し、再生することができます（「アラーム履歴を確認する」をお読みください）。
- DVD-RAMの交換時期を確認してください。
DVD-RAMに記録できる時間は、録画レートや画像データサイズによって異なります。
DVDレコーダーの取扱説明書を参照し、記録可能時間を計算し、ディスクの交換時期を確認してください。なお、DVD-RAMの残用量は映像表示ウィンドウに表示されています。

35 接続中の支店に、DVDレコーダーが設置されている場合に操作できます。ただし、本ソフトウェア設定時に、DVD制御可能開始・終了時間が設定されている場合、時間帯によっては支店のDVDレコーダーを操作できないことがあります。接続している支店にDVDレコーダーが設置されている場合に操作できます。

コントロールソフトの操作のしかた

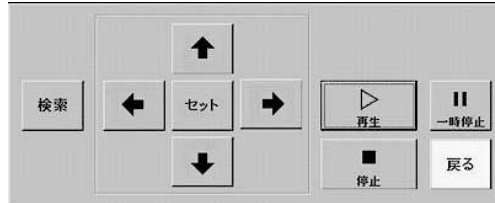
支店に設置されているDVDレコーダーを再生する

DVDレコーダーは、サブウィンドウの右側の操作ボタンに、DVDレコーダーを操作するためのボタン（本書の場合 **DVDR**）がある場合、操作できます。^{36, 37}



- ① **DVDR** を操作するためのボタン（ **DVDR** ）を押します。

サブウィンドウのチャンネル選択エリア（又はエイリアス選択エリア）が、DVD操作ボタンに変わります。



- ② **検索** を押して、DVDレコーダーに記録されている内容を確認します。

検索を押すたびに、リスト表示、サムネイル表示が切り換わります。



リスト表示



サムネイル表示

- ③ 矢印キーを押して、再生したい映像にカーソルを移動後、 **セット** または **再生** を押すと、選択した映像を再生できます。

再生中に **一時停止** を押すと、再生を一時停止することができます。再度、 **再生** を押すと、一時停止した場所から再生を再開できます。

再生中に **停止** を押すと、再生を停止します。

戻る を押すと、DVD操作ボタンがチャンネル表示（又はエイリアス表示）に戻ります。

36 支店に設置されているカメラの映像は、監視センターの操作とは関係なく、支店のDVDレコーダーに記録されています（DVDレコーダーに接続されたアラーム入力によって記録されます）。

37 DVDレコーダーには複数の記録モードがあります。記録モードによって、記録時間又は記録枚数が異なります。詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。


コントロールソフトの操作のしかた

アラーム発生時の操作

アラームについて

支店に設置されているアラームが動作すると、自動的に、支店から監視センターに電話をかけます。支店からの電話が監視センターに着信すると、メッセージがモニターに表示されます。

• 通信待ちの場合



横浜支店
アラームが発生しました!!

OK

OK を押してください。受信した映像が、映像表示ウィンドウに表示されます。また、監視センターのDVDレコーダーに、受信した映像が記録されます。

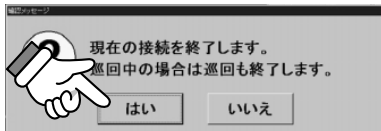
画像蓄積データをダウンロードしますか？

はい いいえ

画像蓄積データをダウンロードしています。

はい を押すと、支店のAVコーデックに記録されている画像蓄積データを監視センターのAVコーデックにダウンロードします。

ダウンロードが完了すると、切断確認メッセージが表示されます。



現在の接続を終了します。
巡回中の場合は巡回も終了します。

はい いいえ

画像蓄積データをDVDに録画します。

OK

はい を押して、切断するとDVDに録画するためのメッセージが表示されます。OK を押すと、ダウンロードした画像蓄積データがDVDレコーダーに録画されます。



自動的にダウンロードするように設定されている場合³⁸

受信した映像の録画が完了すると自動的に画像蓄積データのダウンロードが始まります。画像蓄積データの録画が完了すると自動的に通信を切断します。

• 通信中の場合



横浜支店
アラームが発生しました!!

切換 継続

• 切換

通信中の支店との接続を切断したあと、アラームが動作した支店に接続します。自動的に、支店から送られてきた映像が監視センターのDVDレコーダーに記録されます。

• 継続

アラームを無視して、通信中の支店との接続を継続します。

継続 を押すと、アラーム履歴に履歴が残りません。

38 画像蓄積データのダウンロードを手動又は自動に、設定を変更する必要があるときは当社サービスマンにご相談ください。

コントロールソフトの操作のしかた

アラーム履歴を確認する

支店から監視センターに着信すると着信日時及び発信先がアラーム履歴として記録されます³⁹。
アラーム履歴は、接続待ちのとき、サブウィンドウに表示されます⁴⁰。



• 記録種別

履歴に記録されている全情報が表示されます。

- D : 画像蓄積映像の記録
- A : アラーム着信による記録
- P : 巡回接続による記録
- 空白 : 手動による記録

• アラーム保存

アラーム履歴をフロッピーディスクに保存します。使用中の履歴を保存することはできません。アラーム履歴は、一定期間経過すると自動的に削除されるため、定期的にフロッピーディスクにバックアップしてください。

詳しくは、「アラーム履歴の保存・アラーム履歴ファイルの分割」をお読みください。

• アラーム照会

監視センターのDVDレコーダーに記録されている映像を再生します。条件を指定し、履歴を絞り込むこともできます（「アラーム履歴の照会・再生のしかた」をお読みください）。

39 履歴には、手動による記録日時、巡回接続による記録日時、画像蓄積の映像の記録日時も含まれています。また、アラーム履歴はPCのハードディスク内にログファイルとして保存されます。ログファイルは、本ソフトウェアに設定されている条件によって自動的に分割され保存されます。ログファイルを分割する条件を変更する必要がある場合は、当社サービスマンにご相談ください。

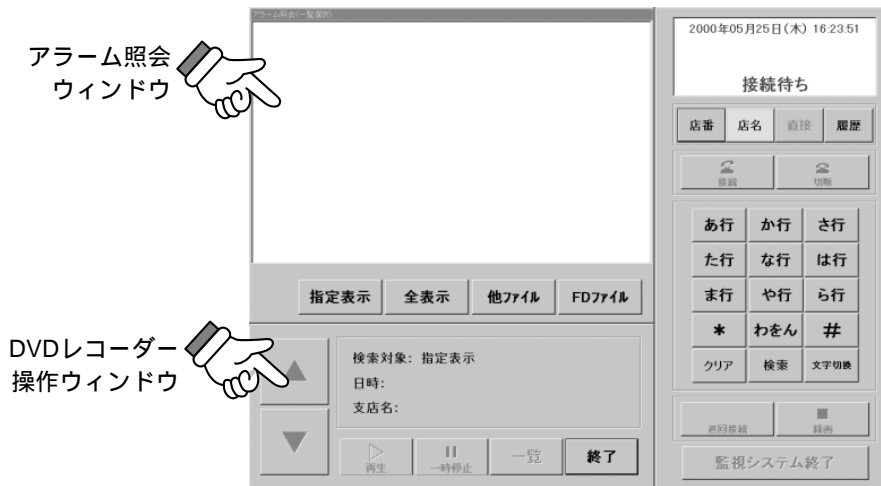
40 サブウィンドウに表示されているアラーム履歴は、システム起動時に消去されます。消去されたアラーム履歴は、ログファイルとしてハードディスクに保存されているアラーム履歴で確認できます。

コントロールソフトの操作のしかた

アラーム履歴の照会・再生のしかた

監視センターに設置されているDVDに記録されている映像を再生するときは **アラーム照会** を押します。 **アラーム照会** を押すと、つぎのように画面が換わります。

- ・映像表示ウィンドウがアラーム照会ウィンドウに換わる。
- ・サブウィンドウがDVDレコーダー操作ウィンドウに換わる。



アラーム照会ウィンドウ

指定表示 又は **全表示** ボタンを押すと、アラーム照会ウィンドウにアラーム履歴が表示されます。アラーム履歴は決められた時間又は件数によって自動的に複数作成されます。アラーム照会ウィンドウに表示できるアラーム履歴は、[他ファイル]で切り換えることができます。

・指定表示

支店番号、支店名、履歴で検索し、該当する履歴だけ表示できます。

接続の場合と同様に、メインウィンドウで支店番号、支店名などを選択し **指定表示** を押すと、該当する履歴を表示できます。



コントロールソフトの操作のしかた

- 全表示
履歴を全件表示できます。



- 他ファイル
アラーム履歴を保存したファイルを選択できます。過去の履歴を確認することができます。サブウィンドウの 又は で切り換えたい履歴を選択し、 指定表示 又は 全表示 を押します。



- FDファイル
フロッピーディスクに保存したアラーム履歴を表示できます。
アラーム履歴を保存したフロッピーディスクをPCのフロッピーディスクドライブにセットし、 指定表示 又は 全表示 を押すと、履歴が表示されます。



コントロールソフトの操作のしかた

DVDレコーダー操作ウィンドウ



: アラーム照会ウィンドウに表示されている履歴から、再生したい履歴を選択します。

再生 : 選択した履歴に該当する映像を再生します。⁴¹

一時停止 : 再生中に押すと一時停止します。

一覧 : 一覧表示に戻ります。

終了 : DVDレコーダーの操作を終了し、接続待ちの状態に戻ります。

41 選択した履歴が、DVDレコーダーにセットされているDVD-RAMに記録されていない場合、操作できません。

コントロールソフトの操作のしかた

アラーム履歴の保存・アラーム履歴ファイルの分割

ハードディスク内に保存されているアラーム履歴（ログファイル）をフロッピーディスクに保存することができます。

[アラーム保存]を押すと、映像表示ウィンドウ、DVDレコーダー操作ウィンドウがアラーム履歴保存ウィンドウに換わります。



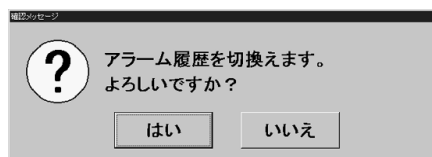
アラーム履歴は一定期間経過すると削除されます！

ハードディスクの容量を節約するため、アラーム履歴は一定期間経過すると自動的に削除されます。このため、アラーム履歴は定期的にフロッピーディスクに保存しておくことをお勧めします。なお、アラーム履歴をハードディスクに保存しておく日数は、設定によって異なります。



- 切換

現在記録中の履歴をログファイルに書き出し、フロッピーディスクに保存できるようにします。「～現在記録中」の履歴を選択している場合に操作できます。このボタンを押すと、つぎのメッセージが表示されます。



を押すと、選択した履歴に切り換えます。

を押すと、現在の履歴をそのまま使用します。

コントロールソフトの操作のしかた

- FDへ保存
選択している履歴をフロッピーディスクに保存します。
アラーム履歴をフロッピーディスクに保存する場合は、フロッピーディスクをPCにセットしてから押してください。選択した履歴がフロッピーディスクに保存されます。
フロッピーディスクがPCにセットされていない場合、メッセージが表示されます。フロッピーディスクをセットしてから再度実行してください。
フロッピーディスクに保存した履歴を確認する場合は、「アラーム履歴を確認する（・FDファイル）」をお読みください。
- 終了
フロッピーディスクへの保存操作を終了し、接続待ちの状態に戻ります。

故障と思われましたら

現象	原因と思われる項目	処置
起動できない エラーが表示される 操作できない	ケーブルが外れている	ケーブルを正しく接続する (接続ポートとポート設定を合わせる)
	必要な設定ファイルが作成されていない	設定ユーティリティで必要となる設定ファイルを作成してください ⁴²
	ファイルがない	再度インストールする ⁴²
	周辺装置の設定が間違っている	周辺装置の通信設定を正しく設定する ⁴² ・通信設定を初期設定ファイルのCodec、MPのCommunication設定と合わせる
	インストールが正しく行われていない	通信ボード、キャプチャーボードが正しくインストールされているか確認してください
	周辺装置の電源が入っていない	周辺装置の電源を入れてからPCの電源を投入する
	電源投入手順が間違っている	周辺装置の電源を入れてからPCの電源を投入する
接続できない	発信、着信できない	ケーブルが外れている ケーブルを正しく接続する (接続ポートとポート設定を合わせる)
	電話番号が間違っている	電話番号を正しく設定する ⁴²
	コーデックの設定が間違っている	AVコーデックの設定を正しく行う ⁴² ・回線交換設定にする ・自動着信にする ・発番号・着番号チェックをOFFにする ・グループIDチェックをOFFにする
	設定ファイルの内容に誤りがある	初期設定ファイルが正しく設定されていない ⁴² ・アラームのIgnoreを0又は1に設定する
アラームを受けても接続地点名が出ない	電話番号が間違っている。	電話番号を正しく設定する。 市内であっても市外局番をつけて登録してください。
アラームを受けると自動的に切断してしまう	設定ファイルの内容に誤りがある	設定ユーティリティで初期設定ファイルを正しく設定する ⁴² ・アラームのDLAutoを1にする
一定時間たっても自動切断されない	自動切断機能が設定されていない	初期設定ファイルで設定する ⁴² ・システムのAutoDiskで切断時間を設定する

次ページへ続く

.....
42 販売店にご相談ください。

故障と思われましたら

続き

現象	原因と思われる項目	処置
コントロールソフト及びWindows NTが一定時刻でシャットダウンしない	自動シャットダウン機能が設定されていない	初期設定ファイルで設定する ⁴² ・システムのShut Down Timeで時刻を設定する
	自動シャットダウン確認メッセージに対し[いいえ]選択した	システムを終了するときは 監視システム終了 を押す(自動終了しなくなるため、手動で終了する必要がある)
支店のDVDレコーダーを制御できない	ワークタイムが設定されている	地点情報ファイルに設定されているDVDワークタイムを消去する ⁴² 初期設定ファイルのR-DVDタブにあるWorkTime(Start、End)をなしに設定する ⁴²
カメラのコントロールができない	カメラ機能設定ファイルの内容に誤りがある又は違うカメラが接続されている	設定ユーティリティでカメラ機能設定ファイルの内容を修正する又はカメラを交換する ⁴²
	設定ファイルの内容に誤りがある	つぎの設定内容を確認し、誤りがあれば修正する ⁴² ・カメラ機能設定ファイル(接続されるカメラの機能と合わせる) ・地点情報ファイル ・カメラ情報ファイル名
	コーデックの設定が間違っている	コーデックの設定を正しく行う ⁴² ・センター：受信機 支店：送信機 ・センター、支店ともにシリアルデータポート設定を初期設定ファイルのMPのCommunicationと一致させる
	同軸通信ユニットの設定方法に誤りがある	カメラ番号を正しく設定する ⁴² ディジーチェーンで複数台接続している場合は、ユニットアドレス、カメラ番号が正しく設定されているか確認する
	同軸通信ユニットの接続に誤りがある	正しく接続する
	ケーブルが外れている	ケーブルを正しく接続する
	AVコーデックのネゴシエーションが失敗した	再度、接続し直す

次ページへ続く

.....
⁴² 販売店にご相談ください。

故障と思われましたら

続き

現象	原因と思われる項目	処置
コーデックCH切換ができない	コーデックのネゴシエーションが失敗した	再度、接続し直す
巡回ができない	設定ファイルの内容に誤りがある	巡回設定ファイルを正しく設定する ⁴² 地点情報ファイルを正しく設定する ⁴² 電話番号を正しく入力する
着信音がならない	オーディオ再生デバイスの設定に誤りがある	正しく設定する ⁴²
	音声ファイルがない	音声ファイルをインストールフォルダにコピーしてください ⁴²
	スピーカーが接続されていない	スピーカーを接続する
アラーム履歴がない	アラーム履歴が消去された	アラーム履歴は、アラームファイルが100個以上又はアラームファイルの作成日時より30日を超えると自動的に消去される アラームファイルは定期的にFDに保存する
アラーム履歴ファイルの自動切換ができない	アラーム履歴ファイルが自動的に切り換わる前にアプリケーションを終了した又はOSをシャットダウンした	切換時間より前にコントロールソフトを終了、又はWindows NTをシャットダウンをしないようにする
	設定ファイルに誤りがある	初期設定ファイルのシステムのShut Down Timeの設定をアラームログのSaveTimeよりも後になるよう設定する ⁴²
操作ができない	操作速度が速すぎる、又は前の操作が完了していない	動作を確認しながら、ゆっくりと操作する

.....
42 販売店にご相談ください。

セットアップ編

注意

ここに、記載されている内容は当社サービスマン又は設置業者が行う内容です。通常、お客様が操作する内容ではありません。セットアップする場合、以下の事項を必ずお守りください。

- セットアップを行う前に、各機器の取扱説明書の「安全上のご注意」を読んで、その指示に従ってください。
- 各機器を接続する前に、各機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- PCIスロットに通信ボード及びキャプチャーボードを取り付ける場合、コンセントから電源コードを抜いてください。差し込んだまま作業を行うと、PC本体又は、ボードが故障する恐れがあります。
- タッチモニター、通信ボード、キャプチャーボードのセットアップ方法は、当社推奨品を使用することを前提に記載しています。

動作環境

本ソフトウェアを使用するために必要な機器をつぎに示します¹。

ハードウェア構成

監視センター側

機器の名前	品番	機器の概要
AVコーデック	WJ - AV20	支店と監視センター間で画像及び音声データを通信するための装置。
画像記録装置 (DVDレコーダー)	WJ - DR200	監視映像をDVD - RAMに記録するための装置。
コントローラー	WV - CU20	AVコーデックを設定するための装置です。
タッチモニター ²	9407TD17 / N1 (付属コントローラー 5810E102) タッチパネルシステムズ株式会 社製 ³	マウス及びキーボードを使用しないで、モニターを触れるだけで、本ソフトウェアを操作するための装置。タッチモニターをPCのモニターポートに接続するための変換ボックスが付属されています。
PC	市販品	本ソフトウェアをインストールするための装置 ⁴ 。 OSとしてWindows NT 4.0 (SP6a) がインストールされている必要があります。詳細は、「Windows NTのアップデート」をお読みください。
通信ボード	COM - 2PD(PCI) CONTEC社製 ³	PCからAVコーデックを操作するためのボード。PCのPCIスロットに組み込まれています。
ビデオキャプチャーボード	Videum Board Winnov社製 ³ (トーメンサイバ ービジネス株式会社取り扱い)	AVコーデックからの映像及び音声をPCに取り込むためのボード。 PCのPCIスロットに組み込まれています。

1 機器を接続するためのケーブルは、現地で作成する必要があります。詳しくは、「ケーブルの仕様」をお読みください。

2 市販されているPC用のモニターでも使用できます。この場合、マウスが別途必要となります。

3 使用するモニター又はボードは、変更になる場合があります。

4 本ソフトウェアを使用するためには、PCのプリンターポートに、ハードウェアキー (HASP : 付属品) を取り付ける必要があります。

監視センター側

機器の名前	品番(当社製品のみ)	機器の概要
AVコーデック	WJ - AV20	支店と監視センター間で画像や音声データを通信するための装置。
画像記録装置 (DVDレコーダー)	WJ - DR200	支店に設置されているカメラの映像をDVD - RAMに記録するための装置。システムによっては設置する必要がない場合があります。
同軸通信ユニット	WJ - MP204	監視センターのカメラを操作するための装置。システムによっては設置する必要がない場合があります。
カメラ	当社コンビネーションカメラ又はシステムカメラ ⁵	監視用カメラ。
画面分割ユニット	WV - MS488又は WV - MS424	1画面を4又は9分割 ⁶ して表示するための装置。

ソフトウェア構成

本ソフトウェアは主に、つぎのプログラムで構成されています。

名称	ファイル名	場所
遠隔監視システム(コントロールソフト)	RmtWatch.exe	遠隔監視システムフォルダー
セットアップユーティリティ	RmtEdit.exe	遠隔監視システムフォルダー
アンインストール	Uninst.exe	遠隔監視システムフォルダー

上記以外にも動作に必要なファイルが複数あります。

上記ソフト及び関連するファイルをインストールし使用するためには、ハードディスクに500MB以上の空きが必要です。

また、コントロールソフトを使用するためには、つぎのファイルを作成する必要があります。

名称	ファイル名 ⁷	場所
カメラ機能設定ファイル	cam_c.csv	地点情報フォルダー
エイリアス設定ファイル	alias_a.csv	地点情報フォルダー
地点情報ファイル	remote_r.csv	地点情報フォルダー
巡回情報ファイル	tour_p.csv	巡回情報フォルダー
初期設定ファイル	RmtWatch.ini ⁸	遠隔監視システムフォルダー

5 システムカメラを当社回転台に取り付けて使用する場合、屋内用レシーバーWV - RC100が別途必要となります。

6 WJ - MS424を使用する場合、9分割表示はできません。

7 ファイル名を指定しなかった場合、仮定される名前。

8 ファイル名は変更できません。

動作条件

本ソフトウェアの動作条件を以下に示します。

条件	概要
PC	DOS / V互換機
CPU	Pentium 400MHz以上
ハードディスク	500MB以上
フロッピーディスクドライブ	アラーム履歴の保存に必要
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストールに必要
メモリー	128MB ⁹ 以上
RS-232Cポート (SIOポート)	2ポート
プリンターポート (PIOポート)	1ポート (ハードウェアキー接続用)
OS	Windows NT Workstation 4.0 (Service Pack 6a)
対応解像度	1024 × 768ドット
対応色数	65536色

注意

モニターや周辺機器のセットアップの説明は、当社推奨品を基にしています。
インストール、セットアップの詳細は、各機器ののマニュアルをお読みください。

.....
9 1MB (メガバイト) は1024KB (キロバイト)、1KBは1024B (バイト)

PCのセットアップ

セットアップ概要

本ソフトウェアを使用するためには、つぎの手順でセットアップする必要があります。

1. PCを準備する。
マウス、キーボード、モニターをPCに接続します。接続のしかたはPCに付属されているマニュアルをお読みください。
2. Windows NT Service Pack 6aをインストールする。
本ソフトウェアは、Windows NT Workstation 4.0 Service Pack6a上で動作します。Service Pack 6aより古いバージョンのWindows NTを使用している場合、この作業を必ず行ってください。インストール後、Windows NTを再起動してください。
なお、Windows NT Service Pack 6aの入手方法は「Windows NTのアップデート」をお読みください。
3. タッチモニター及びモニター付属の変換ボックスをPC本体に接続する。
接続のしかたは、タッチモニター付属のマニュアルをお読みください。
4. 画像の領域、表示色数、タスクバーの表示方法を設定する。
日本語入力システムのツールバーが表示されている場合は、消してください。
詳細は、「画面の領域、表示色数、タスクバーの表示方法の設定」をお読みください。
5. タッチモニター用のソフトウェアをインストールする。
インストール完了後、モニターのキャリブレーションを調節してください。
詳細は、「タッチモニターのインストール」をお読みください。
6. 通信ボードをセットアップする。
通信ボードをPCのPCIスロットに取り付けます¹⁰。そのあと、デバイスドライバをインストールします。インストール後、Windows NTを再起動してください。詳細は、「通信ボードのセットアップ」をお読みください。
7. キャプチャーボードをセットアップする。
キャプチャーボードをPCのPCIスロットに取り付けます。そのあと、デバイスドライバをインストールします。インストール後、Windows NTを再起動してください。詳細は、「キャプチャーボードのセットアップ」をお読みください。
8. スピーカーを接続する。
キャプチャーボードのオーディオ出力にスピーカーを接続します。
9. 本ソフトウェアをインストールする。
詳細は、「コントロールソフトのセットアップ」をお読みください。
10. 設定ユーティリティを使って、ソフトウェアをセットアップする。
詳細は「設定ユーティリティ (RmtEdit) の使いかた」をお読みください。
11. 動作確認を行う。
各機器が正しく動作するか及び設定したとおりに動作するかを必ず確認してください。

.....
¹⁰ 通信ボードを取り付ける前に、ボード上のスイッチの設定が必要です。

Windows NTのアップデート

本ソフトウェアは、Windows NT 4.0 Workstation 日本語版 Service Pack 6a上で動作します。Service Pack 6aがインストールされていない場合、必ずWindows NT 4.0日本語版Service Pack 6aをインストールしてください。

Windows NT Service Pack 6aは、Microsoft社から有償でCD-ROM版が提供されています¹¹。インストールのしかたは、CD-ROMに付属されているマニュアルをお読みください。インストール完了後、Windows NTを再起動してください。

画面の領域、表示色数、タスクバーの表示方法の設定

画面の領域、色の設定

本ソフトウェアに適した画面の領域、表示色になるように、PCを設定する必要があります。画面の領域は、コントロールパネルの画面のプロパティで設定します。

コントロールパネルは、[スタート] [設定(S)] [コントロールパネル(C)]の順にクリックすると開くことができます。

画面のプロパティは、コントロールパネルウィンドウの画面アイコンをダブルクリックすると開くことができます。



画面のプロパティウィンドウ¹²の [設定] タブをクリックします。つぎの項目を設定してください。

- 画面の領域を1024 x 768ピクセルにする。
- 色を65536 (High Color (16ビット)) にする。

各項目を変更後、[OK] をクリックしてください。必要に応じて、Windows NTを再起動してください。

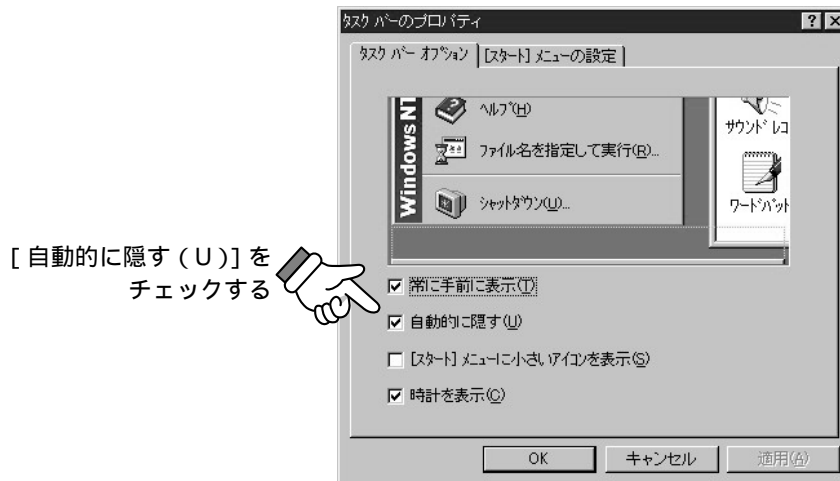
¹¹ Microsoft社のホームページ (<http://www.microsoft.com/japan/>) からダウンロードすることもできます。

¹² [画面のプロパティ] ウィンドウの表示は、PCによって異なります。

タスクバーの表示方法の設定

本ソフトウェアは、画面領域全体を使用します。このため、タスクバーのプロパティの設定を「自動的に隠す」に変更してご使用ください¹³。

[タスクバーのプロパティ] ウィンドウは、[スタート] [設定(S)] [タスクバーと[スタートメニュー](T) ...]の順にクリックすると開くことができます。



日本語入力ツールバーの表示について

本ソフトウェアは、日本語入力を使用しません。

画面に、日本語入力ツールバーが表示されている場合、操作の妨げになることがあります。このため、日本語入力のツールバーを消した状態でお使いください。

日本語入力のツールバーの消しかたは、お使いになっている日本語入力システムのマニュアルをお読みください。

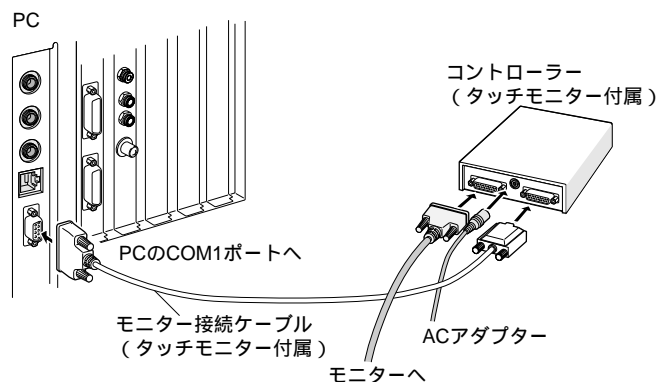
13 タスクバーを表示した状態で使用すると、画面の一部が欠けた状態で表示されることがあります。

タッチモニターのセットアップ

タッチモニターの接続

タッチモニターの取扱説明書を参照し、コントローラー（タッチモニター付属）及びタッチモニターをPCに接続してください（「接続のしかた」をお読みください）。

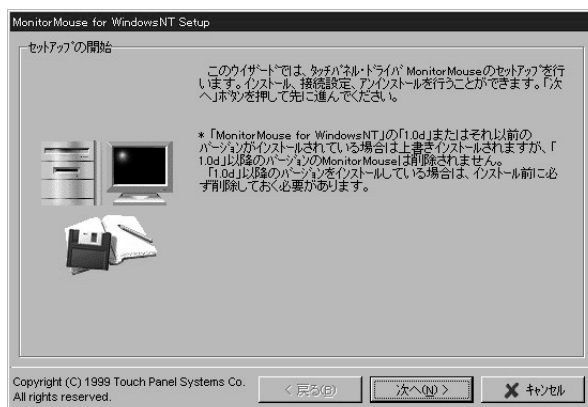
タッチモニターをマウス代わりに使用するためには、下図のようにコントローラー（タッチモニター付属）をPCに接続する必要があります。コントローラーとPCは、タッチモニターに付属されているケーブルでPCのCOM1ポートに接続してください。



タッチモニター用ソフトウェアのインストール

タッチモニターに付属されているマニュアルを参照し、タッチモニター用のソフトウェア（Monitor Mouse）をインストールしてください¹⁴。

インストールのしかたは、タッチモニター付属のマニュアルをお読みください。



タッチモニター用ソフトウェアのインストール画面

インストール完了後、Windows NTを再起動してください。

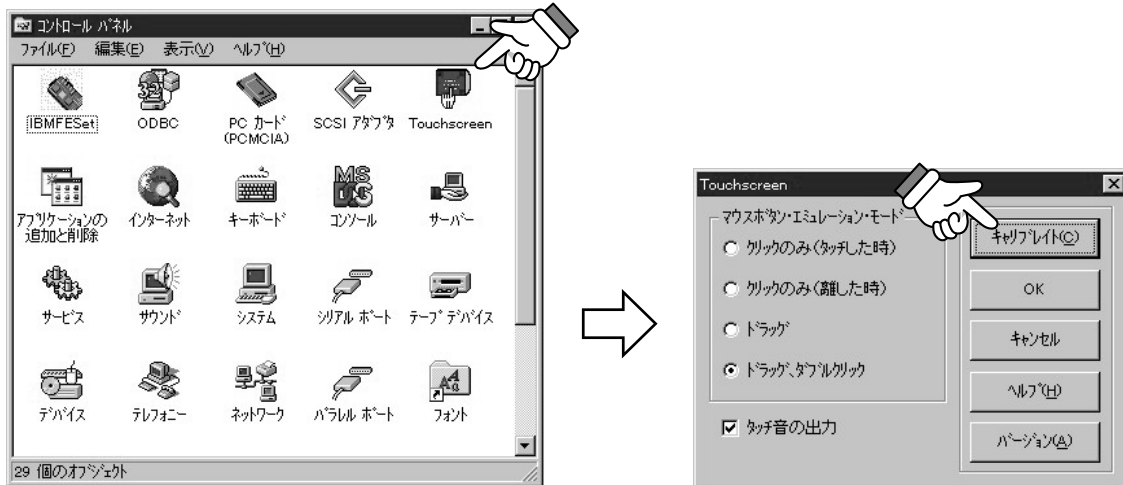
14 Windows NT用をインストールしてください。ご使用になるタッチモニターのバージョンによってはインストールのしかたが異なる場合があります。

PCのセットアップ

キャリブレーションの調節

タッチモニターでソフトウェアを操作するためには、触れた位置を正しく認識させる（キャリブレーションを調節する）必要があります¹⁵。

キャリブレーションを行うために、コントロールパネルを開き、Touchscreenをダブルクリックしてください。Touchscreenウィンドウが開きます。



キャリブレート をクリックし、キャリブレーション画面を表示します。

ターゲットの中心を指でタッチする。



モニターに表示されているターゲットを指で軽く触れます。タッチモニターが正しく認識できると、ターゲットが移動します。画面の指示にしたがって、繰り返してください。

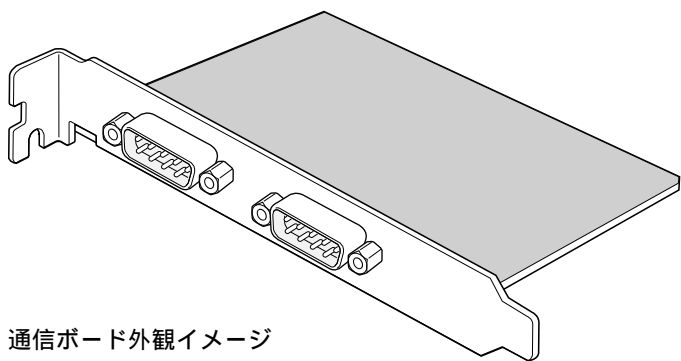


キャリブレートできない、モニターにタッチしてもカーソルが移動しない！

他メーカーのマウス用ソフトウェアがインストールされていないか確認してください。インストールされている場合は、削除してから再度キャリブレーションを行ってください。削除しても、タッチモニターのキャリブレーションを行うことができない場合は、タッチモニターの製造元にお問い合わせください。

15 ご使用になるタッチモニターのバージョンによってはキャリブレーションのしかたが異なる場合があります。キャリブレーションを調節する場合、必ずタッチモニターに付属されているマニュアルを確認してください。

通信ボードのセットアップ



通信ボード外観イメージ

PCの設定の確認

PCのBIOS設定画面で、「プラグアンドプレイ¹⁶を使用しない」の設定に変更してください。
プラグアンドプレイを使用して、通信ボードを認識させると正しく動作しない場合があります。BIOS設定画面の表示方法及び設定方法、PCのマニュアルをお読みください。

スイッチの設定

通信ボードのスイッチを操作して、「RTS、CTS自己ループさせる」、「ターミネーターを挿入する」に設定してください。

COM - 2PD (PCI) を使用する場合、つぎのように設定してください¹⁷。詳しくは、通信ボードのマニュアルをお読みください。

- ・ SW2とSW3のDIP SW1、6、7をONにし、そのほかのDIP SWはすべてOFFにする（「RTS、CTS自己ループさせる」、「ターミネーターを挿入する」）
- ・ 通信ボードのボードID (SW1) は、0番（初期値）に設定する。

通信ボードの取り付けかた

BIOS設定及び通信ボードのスイッチの設定が完了したら、PCの電源を切ります。電源コードも抜いてください。

そのあと、PC又は通信ボードのマニュアルを参照し、PCのPCIスロットに通信ボードを取り付けてください。

PCIスロットに、通信ボードを取り付けたあと、AVコーデックに接続します（「接続のしかた」をお読みください）。

16 新たに追加されたデバイスを自動的に認識し、使用可能にする機能。

17 ご使用になる通信ボードのバージョンによってはスイッチの設定のしかたが異なる場合があります。スイッチを設定する場合、必ず通信ボードに付属されているマニュアルを確認してください。

通信ボード用のドライバーのインストール

PCに、通信ボードを取り付けたあと、通信ボードのマニュアルを参照し、ドライバーをインストールしてください¹⁸。インストール手順（概要）はつぎのとおりです。

- ① 通信ボードに付属されているフロッピーディスクをPCにセットする。
マイコンピュータを開き、フロッピーディスクをダブルクリックして開きます。
- ② ComDrvフォルダーを開く。



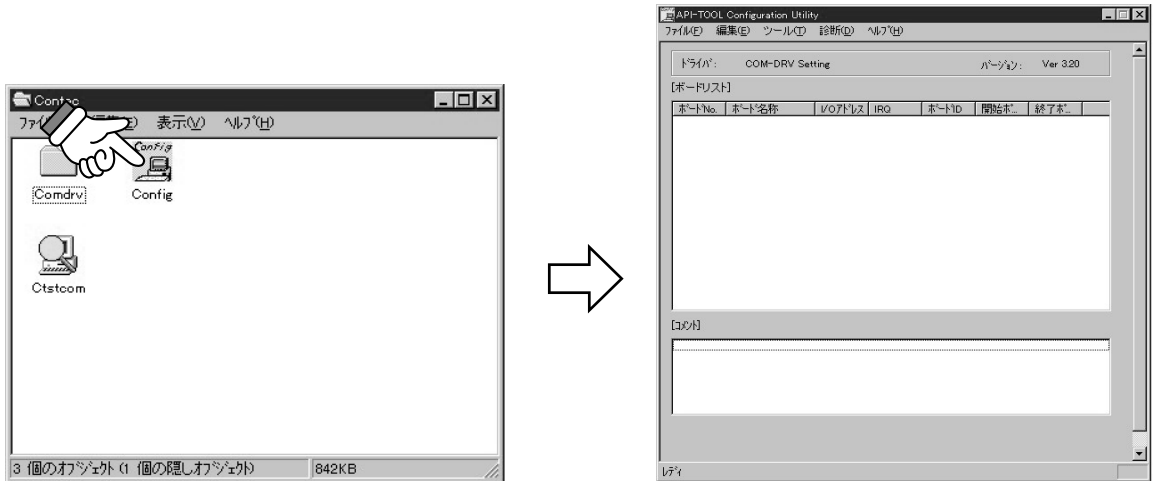
- ③ COMNT_PI.INFファイルを右クリック後、インストールを選択する。
ドライバーと設定用プログラムがコピーされます（CドライブにContecフォルダーが作成されます）。
コピーが完了したら、Windows NTを再起動してください。



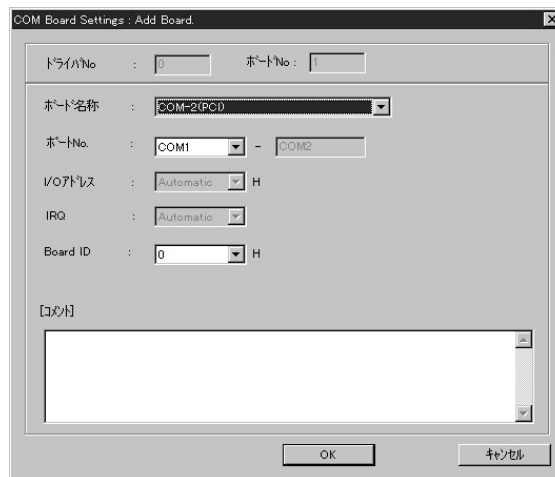
18 ご使用になる通信ボードのバージョンによってはインストールのしかたが異なる場合があります。通信ボードのドライバーをインストールする場合、必ず通信ボードに付属されているマニュアルを確認してください。

PCのセットアップ

- ④Contecフォルダー（C:¥Contec）を開き、Configアイコンをダブルクリックする。
「API-TOOL Configuration Utility」が起動します。



- ⑤メニューバーの [編集 (E)] [ボードの追加 (A)] をクリックする。
「COM Board Settings : Add Board」ウィンドウが開きます。



つぎのように設定してください。

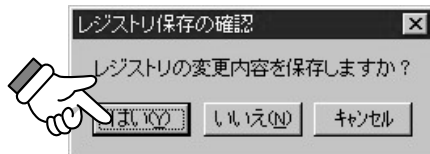
ボード名称 : COM - 2PD (PCI)¹⁹
ポートNo. : COM3
Board ID : 0 (ボード上で設定した値)

上記入力後 をクリックしてください。

.....
¹⁹ 使用しているボードのモデルを選択してください。

PCのセットアップ

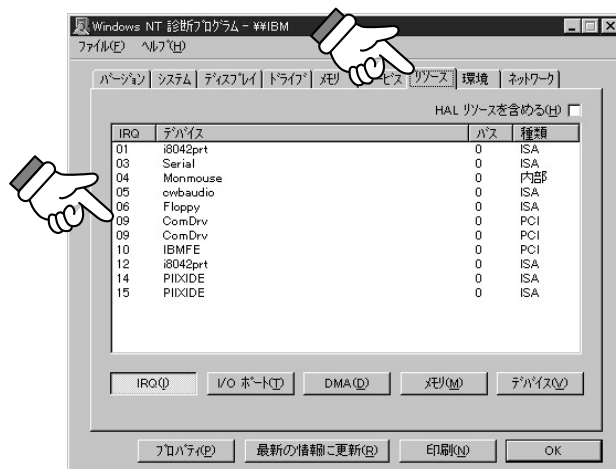
- ⑥ 「API - TOOL Configuration Utility」を終了する。
設定ファイルを保存するかどうか確認メッセージが表示されます。



はい をクリックしてください。

そのあと、「再起動してください。」のメッセージが表示されます。フロッピーディスクを抜き、Windows NTを再起動してください。

- ⑦ Windows NT診断プログラムを実行し、正常にインストールされているか確認する。
診断用プログラムは、[スタート] [プログラム] [管理ツール] [Windows NT診断用プログラム]の順にクリックすると実行できます。

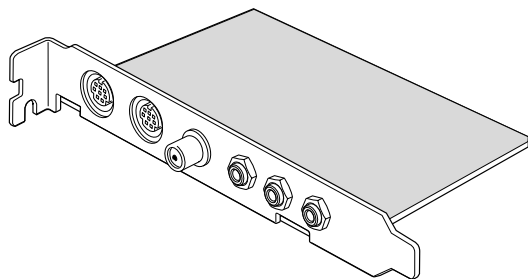


診断用プログラムの表示例

Windows NT診断用プログラムのリソースタブをクリックし、つぎの内容を確認してください。

- デバイス名の欄にComDrvが表示されていること。
- リソースが競合していないこと。

キャプチャーボードのセットアップ



キャプチャーボード外観イメージ

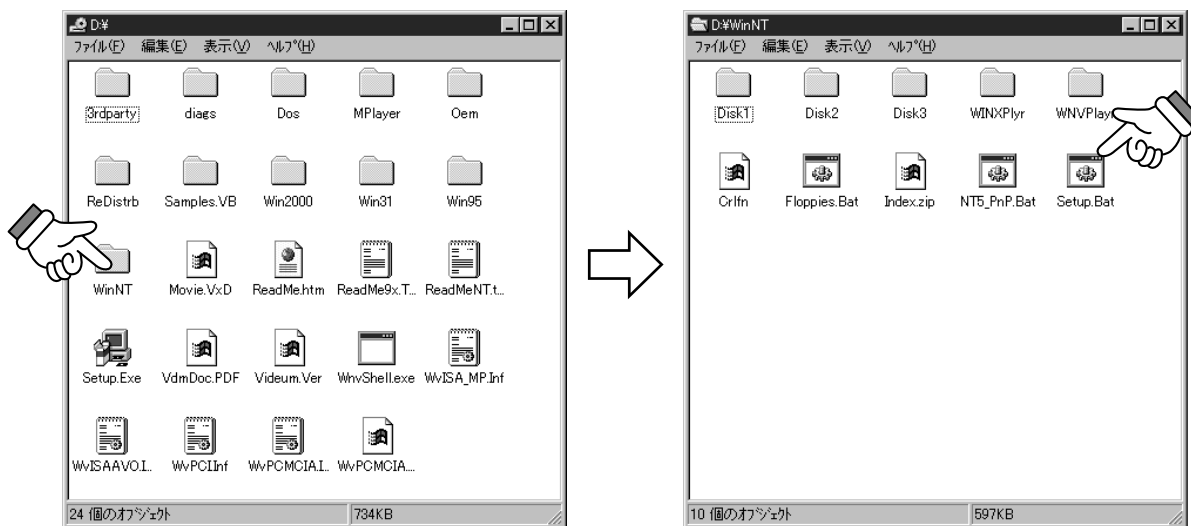
キャプチャーボードの取り付けかた

キャプチャーボードのマニュアルを参照し、PCのPCIスロットにキャプチャーボードを取り付けてください。キャプチャーボードをPCに取り付ける前に、PCの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キャプチャーボード用のドライバーのインストール

PCに、キャプチャーボードを取り付けたあと、キャプチャーボードのマニュアルを参照し、ドライバーをインストールしてください。²⁰ インストール手順（概要）はつぎのとおりです。Windows NT 4.0用をインストールしてください。

- ①キャプチャーボードに付属されているCD-ROMをPCにセットする。
- ②CD-ROMドライブ内のWinNTフォルダーをダブルクリックして開く。



- ③Setup.Batアイコンをダブルクリックする。
インストールが始まります。メッセージにしたがってインストールしてください。インストールする際、つぎの内容をお守りください。
 - ・インストール先フォルダ（Destination Folder）は変更しないでください。
 - ・Setup Typeは、Typical（標準）を選択してください。
 - ・Windows Media Playerはインストールしないでください。²¹
 - ・Winnov Menu Add-onはインストールしないでください。²¹

インストールが終了したら、Windows NTを再起動してください。

²⁰ ご使用になるキャプチャーボードのバージョンによってはインストールのしかたが異なる場合があります。キャプチャーボードのドライバーをインストールする場合、必ずキャプチャーボードに付属されているマニュアルを確認してください。

²¹ ドライバーのバージョンによってはインストールされないことがあります。

オーディオ再生デバイスの設定

コントロールパネルのマルチメディアのプロパティで設定します。
コントロールパネルは、[スタート] [設定(S)] [コントロールパネル(C)]の順にクリックすると開くことができます。マルチメディアアイコンをダブルクリックしてください。その後、オーディオタブをクリックしてください。



「優先するデバイス(D)」をクリックし、「Winnov Videum Playback」を選択してください。

スピーカーを接続する

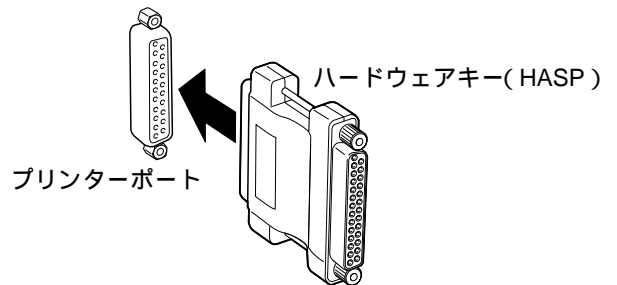
キャプチャーボードのオーディオ出力にスピーカーを接続します(「接続のしかた」をお読みください)。

PCのセットアップ

コントロールソフトのセットアップ

本ソフトウェアは、つぎの手順でインストールしてください

- ①PCの電源を切り、ハードウェアキー（HASP）をPCのプリンターポートに取り付ける。
ハードウェアキーは、本ソフトウェアパッケージに付属されています。



- ②本ソフトウェアパッケージに付属されているCD-ROMをPCにセットする。
自動的にインストールプログラムが起動し、つぎの画面が表示されます²¹。



画面の指示にしたがって、インストールしてください。インストールする際、つぎの内容をお守りください。

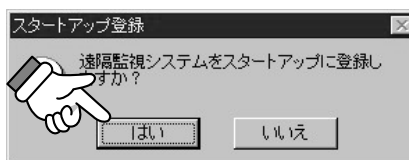
- インストール先フォルダーは変更しないでください。
- 「遠隔監視システムを登録するスタートメニュー又はプログラムマネージャーのグループフォルダ」は、変更しないでください。



²¹ インストーラーが起動しない場合は、マイコンピュータでCD-ROMを開いてください。そのあと、SETUP.exeファイルをダブルクリックするとインストーラーを起動することができます。

PCのセットアップ

インストール中、つぎのメッセージが表示されます。



[はい]をクリックすると、PCの電源を入れるたとき、自動的に本ソフトウェアを起動できます。

- ③インストール完了後、Windows NTを再起動する。
スタートアップに本ソフトウェアを登録した場合、本ソフトウェアは自動的に起動されます。このとき、本ソフトウェアの設定が完了していないと、エラーメッセージが表示されます。設定ユーティリティで設定後、再度起動してください（「設定ユーティリティ（RmtEdit）の使いかた」をお読みください）。



本ソフトウェアが不用になったときは（アンインストール）
つぎの手順で削除してください。

① アンインストールプログラム（Uninst.exe）を実行する。

アプリケーションの削除が始まり、つぎのウィンドウが表示されます。

メッセージにしたがって操作してください。

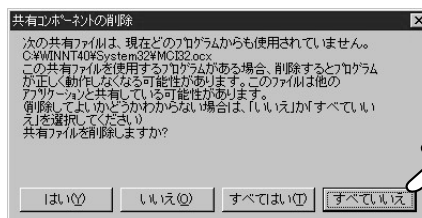
削除する際、自動アンインストールを選択してください。

アンインストールプログラムは、遠隔監視システムフォルダーに本プログラムと一緒にインストールされています。遠隔監視システムフォルダーは、Program Filesフォルダーにあります。



削除中、つぎのメッセージが表示されます。

すべていいえ をクリックしてください。



② WindowsフォルダーのProgram Filesフォルダーにある、遠隔監視システムフォルダーを削除する。²²

22 遠隔監視フォルダーは、ログファイルなどが作成されているため、アンインストールプログラムで削除されません。遠隔監視フォルダーを削除する場合は、遠隔監視フォルダーをゴミ箱にドラッグ・ドロップしてください。

設定ユーティリティ (RmtEdit) の使いかた

本ソフトウェアを使用するためには、設定ユーティリティで、つぎのファイルを作成する必要があります。

ファイル名	作成条件	概要	備考
カメラ機能設定ファイル	<ul style="list-style-type: none"> 支店に設置されているカメラの構成を定義します。 同軸通信ユニットが支店に設置されている場合、必ず作成する必要があります。 支店ごとに作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 支店に設置されているカメラの台数 レンズ操作機能の有無 カメラ機能の有無 (プリセット機能、外部機器の有無など 	カメラの構成 (機能を含む) が同じ場合、ファイルを共用することができます。
エイリアス設定ファイル	サブウィンドウにエイリアス表示を用いる場合、作成する必要があります。支店ごとに作成します。	サブウィンドウに表示する名前を設定します。	エイリアス名、機器構成 (機能を含む) が同じ場合、ファイルを共用することができます。
地点情報ファイル	システムに1つ必要。	<ul style="list-style-type: none"> 支店名、支店の電話番号を定義します。 カメラ機能設定ファイル、エイリアス設定ファイルとの対応を定義します。 	カメラ機能設定ファイル又はエイリアス設定ファイルが作成されていること。
初期設定ファイル	システムに1つ必要。	システムの動作オプション、支店情報にサブウィンドウに関する情報が定義されていないときの名称などを定義します。	ファイル名は変更しないでください。変更すると本ソフトウェアを起動できなくなります。

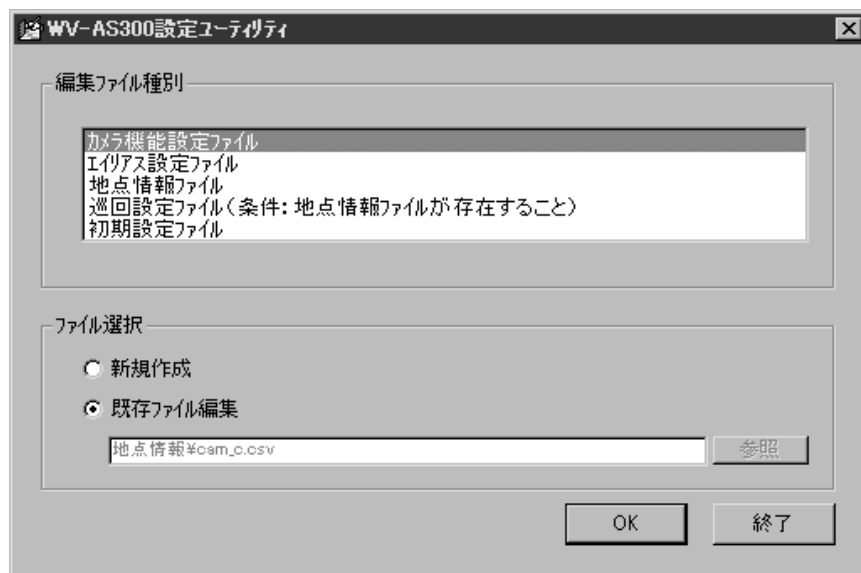
注意

設定ユーティリティで作成したファイルをテキストエディターや表計算ソフトなどで変更しないでください。不用意に変更すると、本ソフトウェアが誤動作したり、起動できなくなることがあります。設定内容の変更及びファイルの追加は、必ず設定ユーティリティを使用してください。

設定ユーティリティの起動 / 終了

設定ユーティリティは、本ソフトウェアとともに、遠隔監視システムフォルダーにRmtEdit.exeという名前でインストールされます。

設定ユーティリティは、RmtEdit.exeアイコンをダブルクリックすると起動できます。



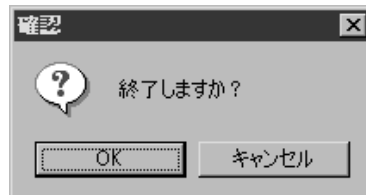
画面の説明

- 編集ファイル種別
作成又は編集したいファイルを選択します。
- ファイル選択
ファイルの作成方法を選択します。
 - 新規作成
新しいファイルを作成します。
 - 既存ファイル編集
作成した内容を修正する又は作成済みのファイルを基に新しいファイルを作成する場
合に選択します。
「既存ファイル編集」を選択した場
合、**参照** をクリックすると編集できる
ファイルの一覧を表示できます。
ファイルを選択したあと、**OK** をクリッ
クしてください。



PCのセットアップ

- OK
各ファイルの設定ウィンドウを表示します。
- 終了
設定ユーティリティを終了します。クリックすると、
つぎのメッセージが表示されます。

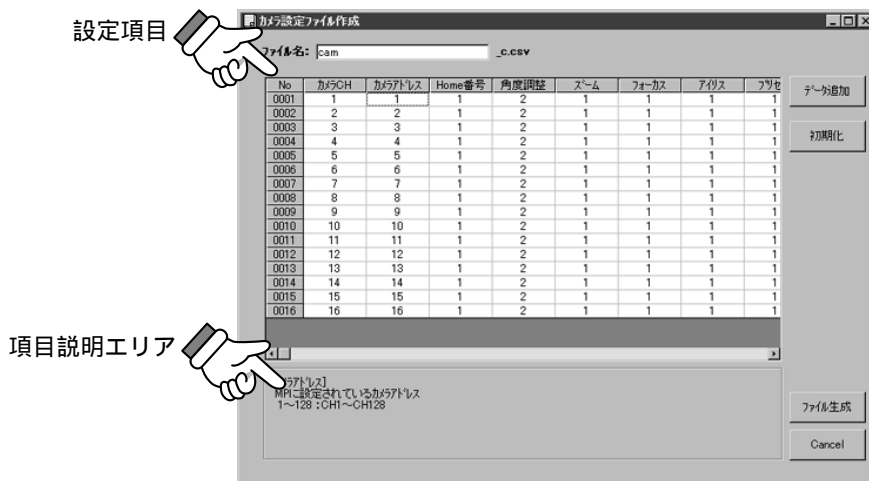


- [OK] : 設定ユーティリティを終了します。
[キャンセル] : セットアップを継続します。

カメラ機能設定ファイルの作成

概要

カメラ機能設定ファイルは、支店に同軸通信ユニットが設置されている場合、必ず作成してください。このファイルは、支店ごとに作成してください。カメラの数及びカメラ機能がすべて同じ場合、1つのファイルを複数の支店で使用することができます。



このウィンドウで、つぎの内容を設定します。行の数がカメラの数となります。カメラは同軸通信ユニット1台に、4台まで接続することができます。

- カメラCHとカメラアドレスとの対応付け
- Home番号、角度調整、ズーム、フォーカス、アイリス、プリセット、オートパン、ワイパー、デフロスター、AUX1、AUX2機能の有無

画面の説明

- ファイル名
支店名など分かりやすい名前を入力します。
- データ追加
行を追加します。最大16行まで追加できます。



行を削除するときは？

表示されている行の数が、支店に設置されているカメラの数となります。

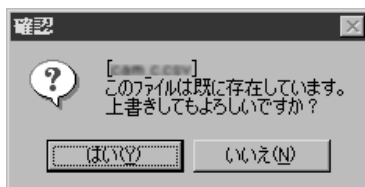
Deleteキーを押すと削除できます。

行の削除は、必ず最終行から行う必要があります。途中の行を削除することはできません。

複数のを同時に削除することもできます。複数行を選択する場合、最終行を選択後、Shiftキーを押しながらクリックしてください。その後、Deleteキーを押してください。

PCのセットアップ

- 初期化
全項目を初期値に戻します。
- ファイル生成
ファイル名で指定した名前でファイルを生成します。既に同じ名前のファイルが存在する場合、つぎのメッセージが表示されます。



をクリックすると、上書きします。
 をクリックすると、設定画面に戻ります。ファイル名を変更してから、再度 をクリックしてください。

- 設定項目
設定項目をクリックすると、項目説明エリアに説明が表示されます。
設定したいセルをダブルクリックすると、データ入力ウィンドウが表示されます。印がある場合、クリックすると入力可能な値がプルダウン表示されます。項目説明エリアに、表示されている値を参考にしながら値を入力又は選択してください。



カメラCHとカメラアドレス

カメラCHは、サブウィンドウの表示方法として、チャンネル表示を選択した場合に表示されるボタンと対応しています。各ボタンを押したとき、どのカメラに切り換えるかをカメラアドレス欄に設定します。

カメラアドレスとは、カメラに設定されている固有の番号です。カメラアドレスは、同軸通信ユニットのセットアップメニュー (CAMERA CONFIG) で設定します。

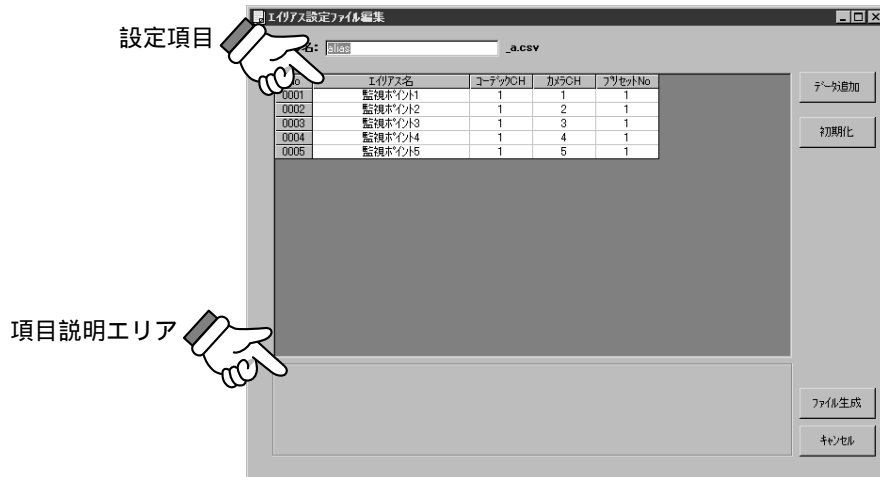
CH1の設定

No	カメラCH	カメラアドレス	Home番号	角度調整	ズーム	フォーカス	アリス	アッペ	データ追加
0001	1	1	1	2	1	1	1	1	初期化
0002	2	2	1	2	1	1	1	1	
0003	3	3	1	2	1	1	1	1	
0004	4	4	1	2	1	1	1	1	
0005	5	5	1	2	1	1	1	1	
0006	6	6	1	2	1	1	1	1	
0007	7	7	1	2	1	1	1	1	
0008	8	8	1	2	1	1	1	1	ファイル生成 キャンセル

エイリアス設定ファイルの作成

概要

エイリアス設定ファイルは、サブウィンドウをエイリアス表示にする場合に必要です。このファイルは、支店ごとに作成してください。エイリアス名、支店に設置されている機器の構成がすべて同じ場合、1つのファイルを複数の支店で共用することができます。



画面の説明

- ファイル名
支店名など分かりやすい名前を入力します。
- データ追加
行を追加します。最大128行まで追加できます。



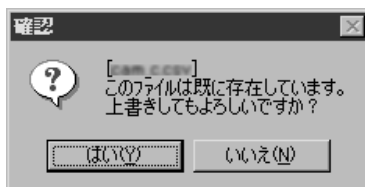
行を削除するときは？

表示されている行の数が、支店に設置されている監視ポイントの数となります。

行はDeleteキーを押すと削除できます。複数の行を同時に削除することもできます。複数行を削除する場合、削除開始する行をクリック後、Shiftキーを押しながら削除を終了する行をクリックしてください。その後、Deleteキーを押してください。

PCのセットアップ

- 初期化
全項目を初期値に戻します。
- ファイル生成
ファイル名で指定した名前でファイルを生成します。既に同じ名前のファイルが存在する場合、つぎのメッセージが表示されます。



をクリックすると、上書きします。
 をクリックすると、設定画面に戻ります。ファイル名を変更してから、再度 をクリックしてください。

- 設定項目
設定項目をクリックすると、項目説明エリアに説明が表示されます。設定したいセルをダブルクリックすると、データ入力ウィンドウが表示されます。印がある場合、クリックすると入力可能な値がプルダウン表示されます。項目説明エリアに、表示されている値を参考にしながら値を入力してください。



エイリアス名について

エイリアス名は、サブウィンドウをエイリアス表示にした場合、表示される名前に対応しています。

「入口」の設定

No	エイリアス名	コーデックCH	カメラCH	フォントNo
0001	入口	1	1	1
0002	受付	1	2	1
0003	CDコーナー1	1	3	1
0004	CDコーナー2	1	4	1

カメラCHについて

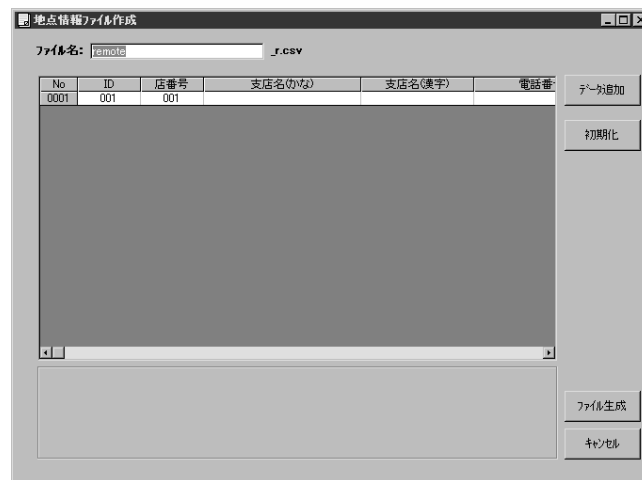
カメラCHは、同軸通信ユニットを使用する場合に設定します。

AVコーデックに直接カメラを接続している場合、設定する必要はありません。

地点情報ファイルの作成

概要

地点情報ファイルは、支店の情報を設定するために必要です。システムに1つ必ず作成してください。



画面の説明

- **ファイル名**
システム名など分かりやすい名前を入力します。
- **データ追加**
行を追加します。支店の数だけ追加してください。最大128行まで追加できます。



行を削除するときは？

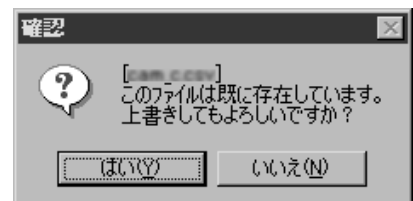
表示されている行の数が、支店の数となります。

行はDeleteキーを押すと削除できます。複数の行を同時に削除することもできます。複数行を削除する場合、削除開始する行をクリック後、Shiftキーを押しながら削除を終了する行をクリックしてください。その後、Deleteキーを押してください。

- **初期化**
全項目を初期値に戻します。
- **ファイル生成**
ファイル名で指定した名前でファイルを生成します。既に同じ名前のファイルが存在する場合、右のメッセージが表示されます。

をクリックすると、上書きします。

をクリックすると、設定画面に戻ります。ファイル名を変更してから、再度 をクリックしてください。なお、地点情報ファイルを複数作成することはできません。



PCのセットアップ

- 設定項目

設定項目をクリックすると、項目説明エリアに説明が表示されます。

設定したいセルをダブルクリックすると、データ入力ウィンドウが表示されます。印がある場合、クリックすると入力可能な値がプルダウン表示されます。項目説明エリアに、表示されている値を参考にしながら値を入力又は選択してください。



- 店番号・支店名(かな)・支店名(漢字)について
発信先を検索する場合、ここに入力した情報を基に検索されます。

No	店番号	支店名(かな)	支店名(漢字)	電話番号(81)
0001	001	よこはま	横浜支店	045-1234-5678
0002	002	しんよこはま	新横浜支店	88-01234-5678

- コーデックCH1～CH5について
ここに入力した情報がサブウィンドウの周辺機器操作ボタンの名前になります。
また、コーデックCH1～CH5は、AVコーデックの映像入力1～5に対応しています。

No	コーデックCH1名称	コーデックCH2名称	コーデックCH3名称	コーデックCH4名称	コーデックCH5名称	SPOTコーデック
0001	スポット	多画面	DVDR	入力1	入力2	1
0002	スポット	多画面	DVDR	カメラ1	カメラ2	1

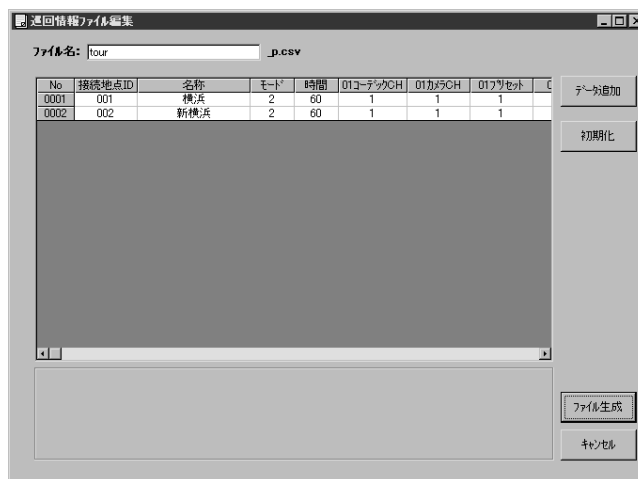
- 初期表示コーデックCHについて
支店に接続したとき表示するAVコーデックのCHを選択します。
- SPOTコーデックCHについて
同軸通信ユニットの映像出力をAVコーデックのどのチャンネル(映像入力)に接続しているかを選択します。同軸通信ユニットが接続されていない場合、「1」を設定してください。
- DVDコーデックCHについて
DVDレコーダーの映像出力をAVコーデックのどのチャンネル(映像入力)に接続しているかを選択します。DVDを設置していない場合は、「なし」を選択してください。

巡回設定ファイルの作成

概要

巡回設定ファイルは、巡回接続で接続する場合に必要です。

巡回接続時、どのような順番で巡回するかシナリオを作成します。シナリオの数だけファイルを作成する必要があります。なお、巡回設定ファイルを作成する前に、地点情報ファイルが作成されている必要があります。



各支店での監視動作を1行で設定します。1行で64ステップまでの動作を設定できます。

画面の説明

- ファイル名
わかりやすい名前を入力します。
- データ追加
行を追加します。支店の数だけ追加してください。最大128行まで追加できます。



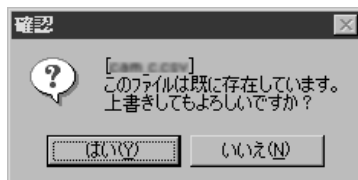
行を削除するときは？

表示されている行の数が、支店に設置されているカメラの数となります。

行はDeleteキーを押すと削除できます。複数の行を同時に削除することもできます。複数行を削除する場合、削除開始する行をクリック後、Shiftキーを押しながら削除を終了する行をクリックしてください。その後、Deleteキーを押してください。

PCのセットアップ

- 初期化
全項目を初期値に戻します。
- ファイル生成
ファイル名で指定した名前でファイルを生成します。既に同じ名前のファイルが存在する場合、つぎのメッセージが表示されます。



をクリックすると、上書きします。
 をクリックすると、設定画面に戻ります。ファイル名を変更してから、再度 をクリックしてください。

- 設定項目
設定項目をクリックすると、項目説明エリアに説明が表示されます。
設定したいセルをダブルクリックすると、データ入力ウィンドウが表示されます。印がある場合、クリックすると入力可能な値がプルダウン表示されます。項目表示エリアに、表示されている値を参考にしながら値を入力又は選択してください。



- コーデックCH、カメラCH、プリセット、Timeについて
これら4つの設定を1組として、1つの地点での映像切り換え動作を設定します。例えば、「01コーデックCH」、「01カメラCH」、「01プリセット」、「01Time」は、該当した地点に接続したとき、最初に切り換える映像と、映像の表示時間を表しています。「01コーデックCH」・・・「01Time」実行後、「02コーデックCH」・・・「02Time」のステップの映像が表示されます。64ステップまで指定できます。
- 接続時間について
1地点の巡回時間が自動切断時間²²よりも長い場合、巡回の途中で切断されますので注意してください。

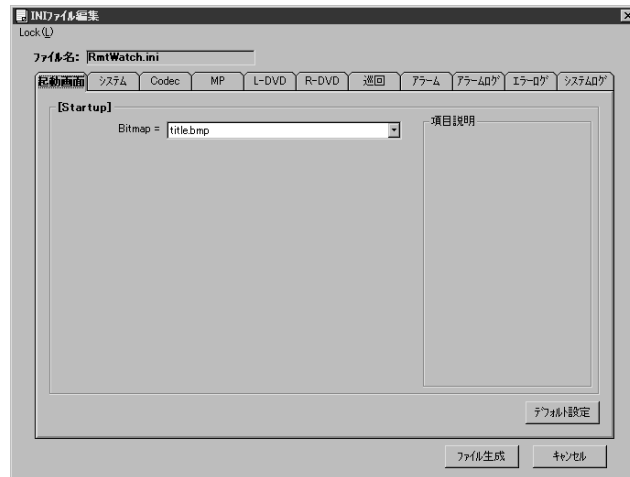
22 初期設定ファイル (RmtWatch.ini) に設定された自動切断時間。

初期設定ファイル (INIファイル) の作成

概要

初期設定ファイルは、システムに1つ必要です。

初期設定ファイルに、起動時の画面又は各種機能の初期値を設定します。

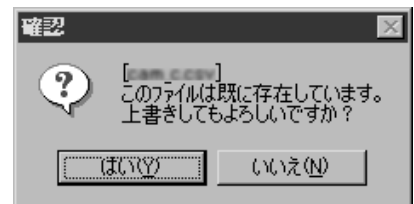


画面の説明

- **ファイル名**
ファイル名は変更できません。RmtWatch.iniがない場合、本ソフトウェアを起動することはできません。
- **ファイル生成**
ファイル名で指定した名前でファイルを作成します。既にファイルが存在する場合、右のメッセージが表示されます。

をクリックすると、上書きします。

をクリックすると、設定画面に戻ります。



- **設定項目**
設定項目は、用途ごとに、11のグループに分類されています。各グループの概要は次ページのとおりです。

PCのセットアップ

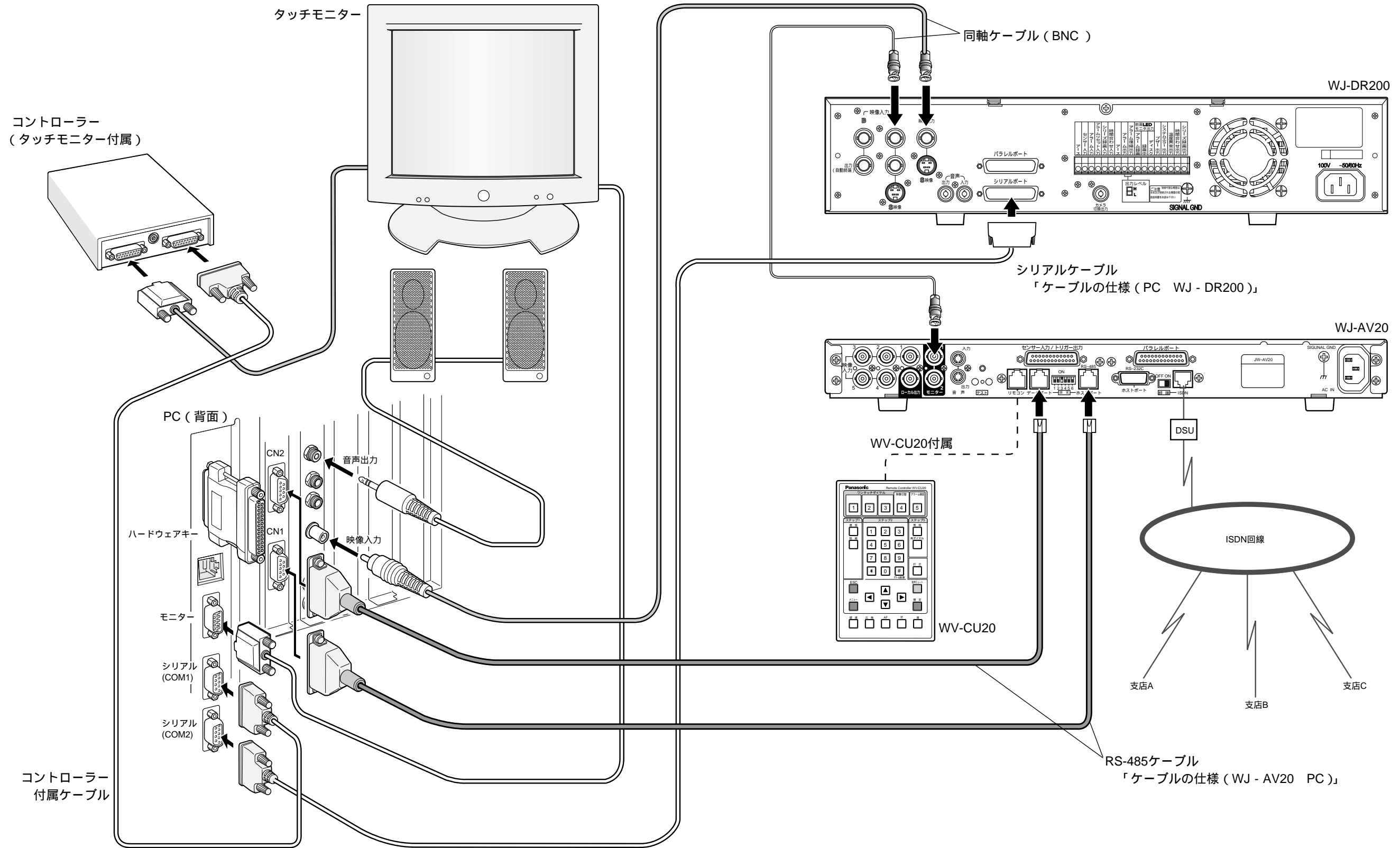
グループ名 (タブの名前)	概要
起動画面	起動時に表示させる画像を変更できます。 設定可能画像ファイル形式：BMPファイル
システム	接続待ち状態時に表示する画像ファイル、自動終了時刻、自動切断するまでの時間などを設定できます。 設定可能画像ファイル形式：BMPファイル
Codec	地点情報ファイルに、登録されていない支店に接続した場合サブウィンドウに表示するAVコーデックのボタン名などを指定します
MP	カメラ自動切換時間、サブウィンドウの表示形式を設定します。また、地点情報ファイルに登録されていない支店に接続した場合、その支店にMPが設置されている/いないかの初期値を設定します。
L - DVD	監視センターに設置されているDVDレコーダーの録画モードを設定します。
R - DVD	すべての支店に設置されているDVDレコーダーに対して操作可能時刻を設定します。
巡回	巡回接続時に対するつぎの情報を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・メインウィンドウに表示するシナリオ数 ・メインウィンドウに表示する名前と巡回設定ファイルとの対応 ・巡回モード (巡回回数) ・巡回時、センター側DVDレコーダーに映像を記録するかどうかなどの設定
アラーム	支店から監視センターに着信した場合の動作を設定します。
アラームログ エラーログ システムログ	これらの項目は初期値のままご使用ください。 各種ログファイルの保存日数及びファイルの最大数などを変更できます。

設定項目をクリックすると、項目説明エリアに説明が表示されます。
設定したい項目をダブルクリックすると、データ入力ウィンドウが表示されます。印がある場合、クリックすると入力可能な値がプルダウン表示されます。項目説明エリアに、表示されている値を参考にしながら値を入力又は選択してください。なお、グレー表示の項目は設定内容を変更しないでください。²³

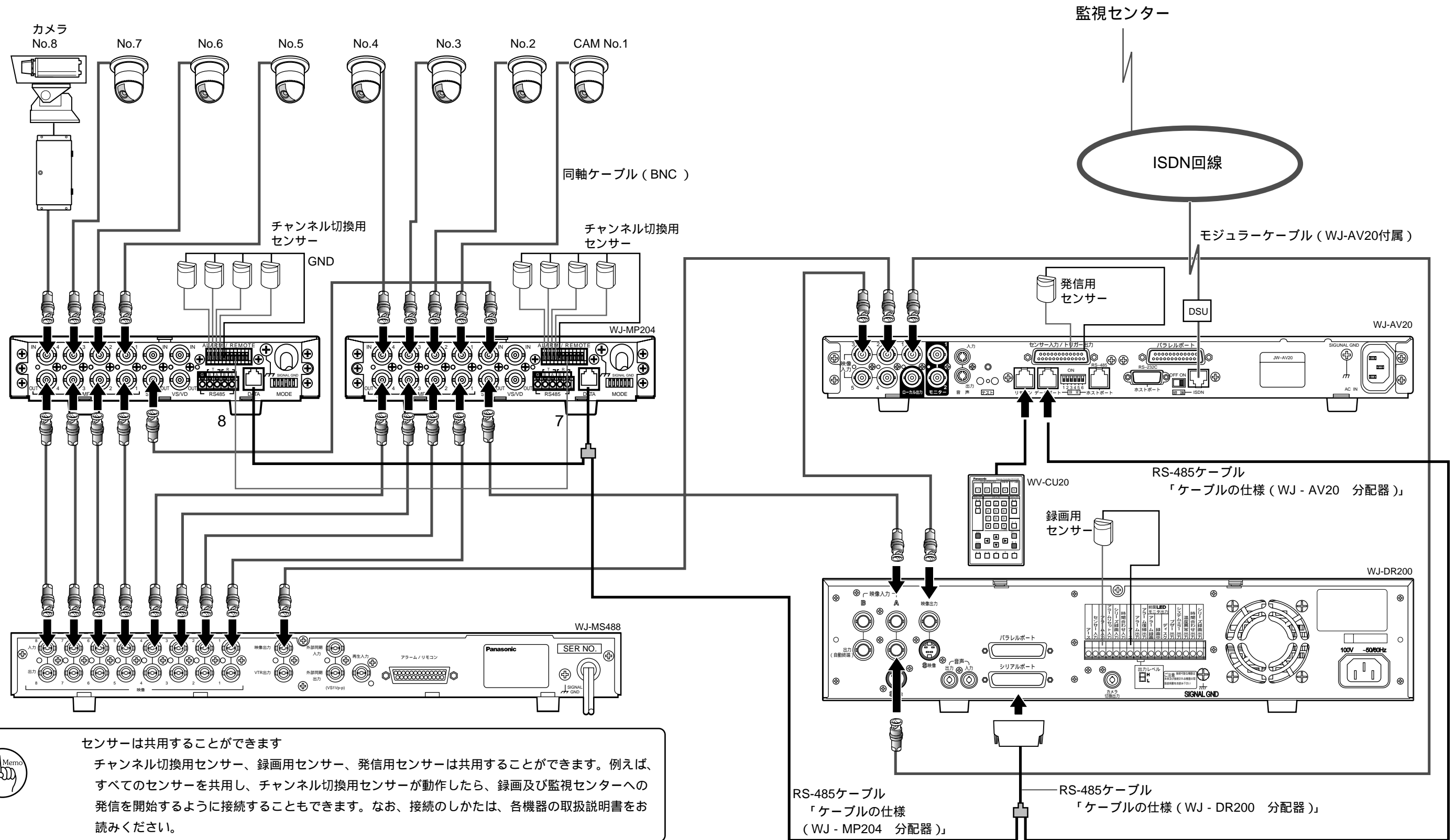
- デフォルト設定
変更した内容を初期値に戻します。

.....
23 グレー表示の項目を変更すると、システムが正しく動作しなくなることがあります。グレー表示の項目を変更する必要がある場合は、LockメニューのOffをクリックしてください。

監視センターの接続例



支店の接続例

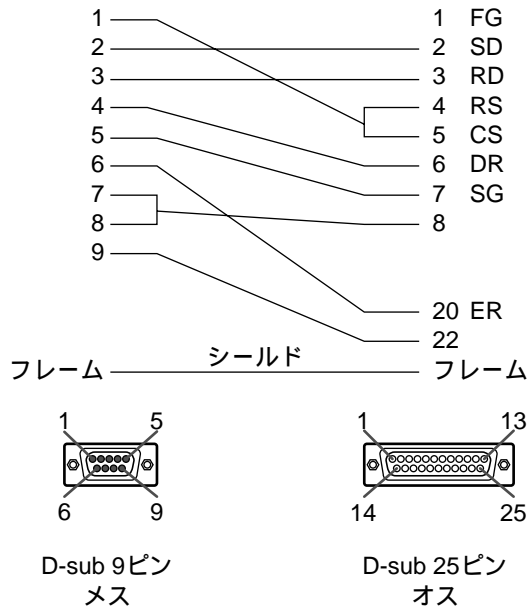


メモ センサーは共用することができます
 チャンネル切換用センサー、録画用センサー、発信用センサーは共用することができます。例えば、すべてのセンサーを共用し、チャンネル切換用センサーが動作したら、録画及び監視センターへの発信を開始するように接続することもできます。なお、接続のしかたは、各機器の取扱説明書をお読みください。

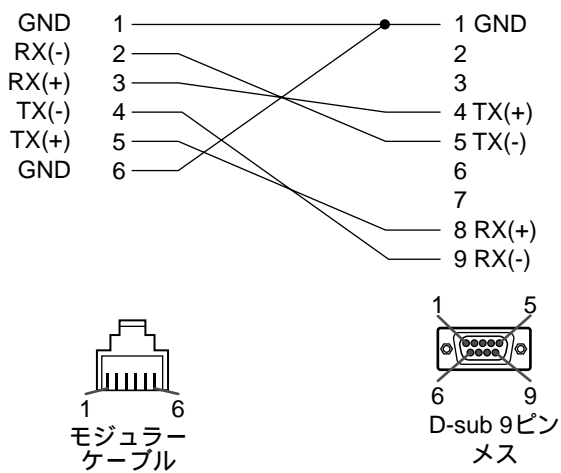
機器の接続

ケーブルの仕様

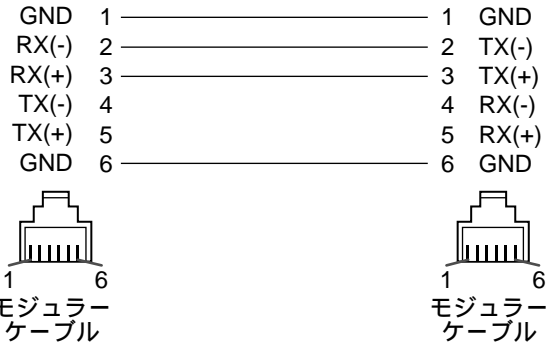
PC WJ-DR200 (シリアルクロスケーブル：市販品)



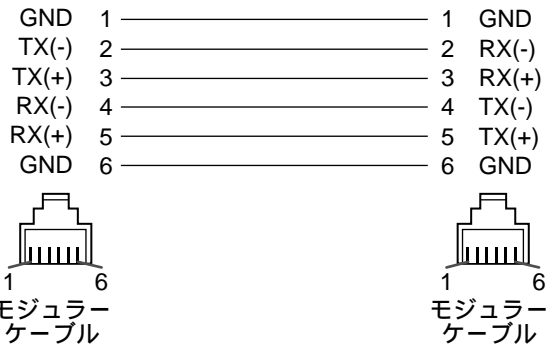
WJ-AV20 PC (現地製作)



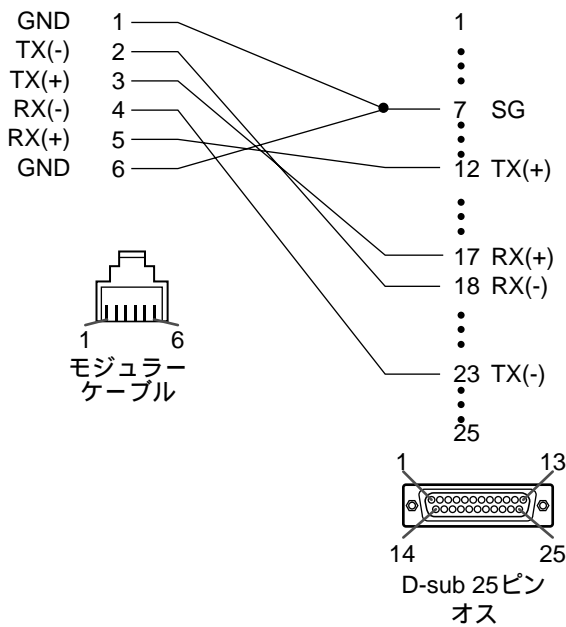
WJ-MP204 分配器 (現地製作)



WJ-AV20 分配器 (現地製作)



WJ-DR200 分配器 (現地製作)



機器の設定

AVコーデックを設定する

設置工事がすべて完了したら、次の項目を設定してください。

- セットアップメニュー
- ディップスイッチ

セットアップメニューの設定

本機でAVコーデックを使用する場合、下表の項目を設定する必要があります。

下表以外の項目は、システムによって設定内容が異なります。システムに適した値を設定してください。なお、設定のしかたについては、AVコーデックの取扱説明書をお読みください。

メニュー画面の名前	設定項目	設定内容	
		監視センター	支店
100 モード/カイセンセッテイ	モード	ジュシンキ	ソウシンキ
	カイセンシュベツ	カイセンコウカン	カイセンコウカン
210 チャクシンセッテイ	チャクシンホウホウ	ジドウ	ジドウ
230 ハツシンバンゴウ・ チャクバンゴウチェック	ハツバンゴウチェック	OFF	OFF
	チャクバンゴウチェック	OFF	OFF
240 グループIDチェック	グループIDチェック	OFF	OFF
310 タンシュクデンワチョウ	短縮番号No.001	-	監視センターの電話番号を登録
320 ワンタッチダイヤル	全項目	初期値のまま使用すること	初期値のまま使用すること
330 ジュンカイダイヤル	全項目	初期値のまま使用すること ²⁴	初期値のまま使用すること ²⁴
410 トケイセッテイ		現在の日付・時刻を設定	現在の日付・時刻を設定
421 シリアルデータポート ²⁵	レート	9600	9600
	データ	8	8
	ストップビット	1	1
	パリティ	NONE	NONE
421 ホストポート ²⁵	レート	9600	9600
	データ	8(固定)	8(固定)
	ストップビット	1(固定)	1(固定)
	パリティ	NONE(固定)	NONE(固定)
	RS485ユニットNo.	01	01
430 ビューポイントセッテイ		-	アラーム連動でスポットに切り換える場合、設定
440 オンセイ	エコーキャンセラ	OFF(音声を使用する場合ON)	OFF(音声を使用する場合ON)
	ソウシンオンセイ	OFF(音声を使用する場合ON)	OFF(音声を使用する場合ON)
451 ガシツ/ウゴキ		ヒョウジュン	ヒョウジュン
452 ガメンヒョウジ	カメラバンゴウヒョウジ	OFF	OFF
	アイテメイヒョウジ	OFF	OFF
	ジコクヒョウジ	OFF	OFF
453 ケーブルホショウ	カメラ1~カメラ5	初期値のまま使用すること	カメラケーブルの長さに合わせる

次ページへ続く

²⁴ 設定項目によっては、設定内容を変更すると誤動作する場合があります。

²⁵ 設定内容は、初期設定ファイル (RemoteMP) の設定に合わせる。

機器の設定

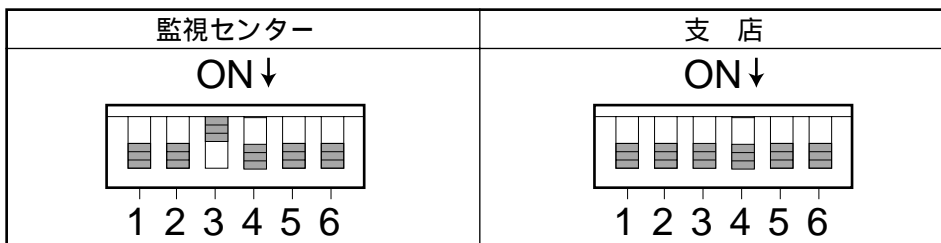
続き

メニュー画面の名前	設定項目	設定内容	
		監視センター	支店
461 アラームハッシンセッテイ	全項目	-	アラーム動作環境に合わせる
462 アラームハッシンテーブル1~ アラームハッシンテーブル3	アラーム発信先	-	監視センターの電話番号を登録した短縮番号を設定する
470 シーケンシャルスキャンセッテイ	シーケンシャルスキャン	-	OFF
480 ガゾウチクセキ	アラームゴ チクセキ	-	OFF (推奨)

AVコーデックを設定する

ディップスイッチの設定

AVコーデック背面にある設定用ディップスイッチを下図のとおりを設定してください。
なお、各スイッチの役割は、AVコーデックの取扱説明書をお読みください。



機器の設定

DVDレコーダーを設定する

本機でDVDレコーダーを使用する場合、下表の項目を設定する必要があります。
下表以外の項目は、システムによって設定内容が異なります。システムに適した値を設定してください。なお、設定のしかたについては、DVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

メニュー画面の名前	設定項目	設定内容	
		監視センター	支店
SYSTEM	CLOCK	現在の日付・時刻を設定	現在の日付・時刻を設定
	START UP STATUS	MANUAL	ALARM REC
	STATUS DISPLAY	ON	ON
	ALARM DISPLAY	OFF	ON
SIRIAL SET UP	PORT NUMBER	01	01
	SIGNAL TYPE	RS232C	RS485
	BAUD RATE	9600	9600
DISPLAY POSITION		最下段	最上段
TIME LAPSE PROGRAM VTR	全項目	OFF	任意
PROGRAM TIMER	全項目	OFF	任意

同軸通信ユニットを設定する

セットアップメニューの設定

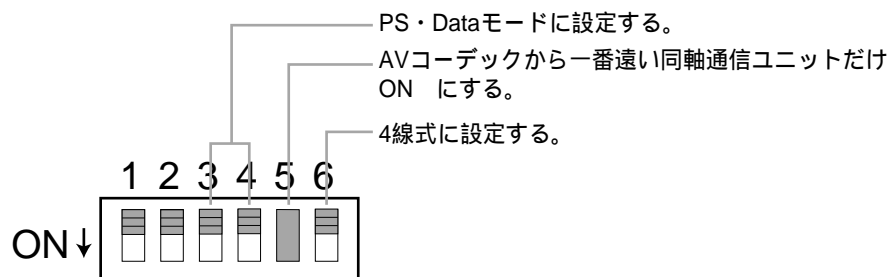
本機で同軸通信ユニットを使用する場合、下表の項目を設定する必要があります。設定のしかたは、支店に設置する同軸通信ユニットの数によって異なりますので注意してください。下表以外の項目は、システムによって設定内容が異なります。システムに適した値を設定してください。なお、設定のしかたについては、同軸通信ユニットの取扱説明書をお読みください。

メニュー画面の名前	設定項目	設定内容	
		監視センター	支店
COMMUNICATION	UNIT ADDRESS	-	1台目：1 2台目：2 3台目：3 4台目：4
	BAUD RATE ²⁶	-	9600
	DATA BIT ²⁶	-	8
	PARITY CHECK ²⁶	-	NONE
	STOP BIT ²⁶	-	1
	WAIT TIME ²⁶	-	OFF
SYSTEM	COMP / VD2 / DATA	-	同軸通信ユニットに接続するカメラに、適した値を設定する
	CAMERA CONFIG	-	1台目：1ch, 2ch, 3ch, 4ch 2台目：5ch, 6ch, 7ch, 8ch 3台目：9ch, 10ch, 11ch, 12ch 4台目：13ch, 14ch, 15ch, 16ch
	DAISY MODE	-	ON ²⁷
	TERMINAL	-	ALARM

ディップスイッチの設定

支店に設置されている同軸通信ユニット背面にある、設定用ディップスイッチを下図を基に設定してください。

なお、各スイッチの役割は、同軸通信ユニットの取扱説明書をお読みください。



26 設定内容は、初期設定ファイル (RemoteMP) の設定に合わせる。

27 支店に設置する同軸通信ユニットが1台の場合、OFF。

索引

数字

1画面表示 32

A

API-TOOL Configuration Utility 60

AVコーデック 8

AVコーデックのチャンネル切り換え 32

AVコーデックを設定する 86

C

CH1 ~ CH16 33

Codec 79

COMNT_PI.INFファイル 59

D

DVD操作ボタン 37

DVDの残容量 20

DVDレコーダー 8

監視センター 36

支店 37

設定する 88

操作ウィンドウ 42

F

FDファイル 41

FDへ保存 44

H

HASP 64

HOME 33

I

INIファイル 78

INSネット64 9

L

L - DVD 79

M

Microsoft 9

Monitor Mouse 9,56

MP 79

P

PC 8

PCの設定の確認 58

PCのセットアップ 53

Pentium 9

R

RmtEdit 67

R - DVD 79

T

Touchscreen 57

TOUR 33, 34

W

Windows NT 8, 9

Windows NTのアップデート 54

あ

アラーム 79

アラーム照会 39

アラーム照会ウィンドウ 40

アラームについて 38

アラーム保存 39

アラーム履歴

～の照会 40

～の保存 43

～ファイルの分割 43

～を確認する 39

アラームログ 79

アンインストール 66

映像表示ウィンドウ 20

エイリアス設定ファイル 67

エイリアス設定ファイルの作成 72

エラーログ 79

オーディオ再生デバイスの設定 63

オートパン 35

か

回転台操作部 35

外部1 35

外部2 35

概要 2

画像蓄積データ 38

索引

カメラCH	71	周辺機器を操作する	32
カメラアドレス	71	終了のしかた	21
カメラ機能設定ファイル	67	巡回	79
カメラ機能設定ファイルの作成	70	巡回先の機器を操作する	30
カメラコントロール	33, 34	巡回接続	28
カメラコントロールパネル	35	巡回接続を終了する	30
カメラを操作する	33	巡回設定ファイルの作成	76
画面の領域	54	使用上のお願い	10
監視システム終了	21	商品概要	3
監視センター	8	初期設定ファイル	67
~の接続例	80	~の作成	78
機器		スイッチの設定(通信ボード)	58
~の接続	80	ズーム	35
~の設定	86	スピーカーを接続する	63
起動画面(設定)	79	接続する	24
起動のしかた	16	接続中画面	22
起動前の準備	16	接続中の操作	31
キャプチャーボード		接続に失敗した場合	22
~のセットアップ	62	接続のしかた	22
~の取り付けかた	62	切断のしかた	23
キャリブレーションの調節	57	設定ユーティリティ	67
切換(アラーム履歴)	43	~の起動/終了	68
記録種別	39	セットアップ概要	53
ケーブルの仕様	84	セットアップ編	49
故障と思われましたら	45	全表示	41
コントロールソフト		ソフトウェア構成	51
~の起動	16	ソフトウェア使用許諾契約書	11
~のセットアップ	64		
		た	
	さ	多画面表示	32
撮影場所選択エリア	34	タスクバーの表示方法	55
サブウィンドウ	19	タッチモニター	
システム		~の接続	56
設定	79	~のセットアップ	56
~の概要	14	他ファイル	41
システムログ	79	地点情報ファイル	67
支店	8	~の作成	74
支店の接続例	82	中断のしかた(巡回接続)	29
支店番号で検索	25	著作権について	9
支店名で検索	26	通信ボード	
自動終了	21	~のセットアップ	58
自動切断機能	23	~の取り付けかた	58
シナリオ	8	デフロスター	35
絞り	35	電話番号を入力する	27

索引

動作条件	15, 52
同軸通信ユニットを設定する	89

な

日本語入力ツールバー	55
------------------	----

は

ハードウェアキー	64
ハードウェア構成	50
日付・時刻	20
表示色数	54
表示画面	17
標準システム構成	14
ファイル選択	68
フォーカス	35
付属品	3
プリセット制御選択	33
編集ファイル種別	68
本書の構成	8

ま

メインウィンドウ	18
----------------	----

や・ら・わ

用語について	8
履歴から検索	27
ワイパー	35

このソフトウェアや取扱説明書の一部または全部を無断で使用、複製は禁止します。

便利メモ (おぼえのため,記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品 番 WV-AS300
販 売 店 名		☎ () -

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)
NM0600-0 V8QA5560AN